

Joie™ signature

ジョイー・チャイルドシート/ブースター

i-Plenti™
アイ-プレんティー

取扱説明書 / 保証書

ECE R129/03 適合

【ハーネスモード時】

適応月齢：生後 15 ヶ月 - 4.5 歳頃まで

適応身長：76cm - 105cm

適応体重：9kg - 19.5kg まで

【ブースターモード時】

適応月齢：3.5 歳 - 12 歳頃まで

適応身長：100cm - 150cm

適応体重：36kg まで



ECE R129/03 : I-Size

2601_02

JP Welcome to Joie™

この度は、ジョイー 製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

本製品は、自動車の座席に取り付け、設置して使用するチャイルドシート／ブースター製品です。本製品は、最新のチャイルドシートの安全基準に適合していますが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ、本取扱説明書および本製品を取り付けるシート類の取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書は、大切に保管して必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
正しい使用	5
チャイルドシート製品について	5
使用に関するアドバイス	5
本製品の情報	6
適合車種一覧	7
表記の説明	7
内容物の確認	9
各部の名称	10
使用可能なお子さまの範囲	12
ソフトパッドの使用	13
リクライニングの調節	14
自動車の座席に関して	14
使用可能な座席の位置と向き	14
i-Sizeについて	15
本製品を取り付けできない座席	16
使用上の注意事項	19
取扱説明書の携行	28
緊急時の操作	29
基本的な使いかた	30
バックルの使いかた	30
差込みタンク受け	32
ハーネスの長さ調節	32
ヘッドサポートの高さ調節	33
リクライニングの調節	35
ソフトパッド	36
サイドインパクトプロテクションボッド (SIPP)	37
ハーネスモードで使用する	39
自動車の座席への取り付け	40
お子さまの乗せかた	52
ブースターモードで使用する	58
ブースターモードへの切り替え	59
ISOFIX固定装置の使用	64
3点式シートベルトのみでの使用	69
お子さまの乗せかた	72
お手入れのしかた	79
カバー類の取り外し、取り付け	79
お手入れの方法	87
保管のしかた	89
廃棄のしかた	89
保証書	90

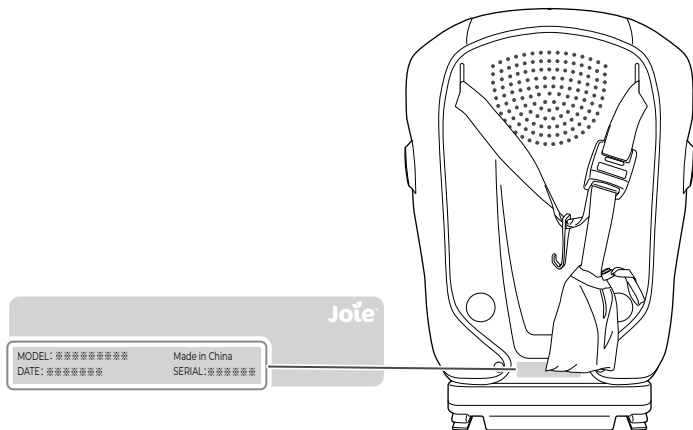
ユーザー登録のお願い

チャイルドシート製品をご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート、ブースターの基準である、ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報は、当社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品背面下部のステッカーに記載されています。



正しい使用

本製品が所定の安全性能を発揮するように、本書および本体に表記の指示に従って、正しく使用してください。

チャイルドシート製品について

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や、緊急事態には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

本製品の情報

本製品は、UN R129/03基準に適合するチャイルドシート製品です。ハーネスモード、ブースターモードに切り替えて使用することができますが、それぞれのモードにより使用条件が定められおり、かつ、お子さまが以下の条件を満たしている必要があります。

ハーネスモード

本製品の固定方法 : ISOFIX 固定装置+トップテザー

お子さまの保護 : 本製品のハーネスを使用

1. 本製品は「i-Size(アイサイズ)改良型幼児用拘束装置」です。UN 規則第 129 号(UN R129) に適合しており、原則として自動車メーカーが車両の取扱説明書で「i-Size 対応」と指定している座席位置で使用いただけますが、本製品に取り付けるシート類や、座席位置などの条件により、機能に制限が生じる場合があります。ご使用になる前に、「適合車種一覧」を参照してください。
 2. 本製品に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。
-

ブースターモード (自動車の 3 点式シートベルトを使用します)

本製品の固定方法 : 3 点式シートベルトのみ

: 3 点式シートベルト+ ISOFIX 固定装置

お子さまの保護 : 3 点式シートベルト

1. 本製品は「i-Size (アイサイズ) 改良型ブースター」です。UN 規則第 129 号 (UN R129) に適合しており、原則として自動車メーカーが車両の取扱説明書で「i-Size 対応」と指定している座席位置で使用いただけますが、本製品に取り付けるシート類や、座席位置などの条件により、機能に制限が生じる場合があります。ご使用になる前に、「適合車種一覧」を参照してください。
2. 本製品に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

原材料 : プラスチック / 金属 / 縫製品

パテント No. : 特許出願中

適合車種一覧

以下のホームページに掲載の適合車種一覧において、本製品を取り付けて使用できる車両および座席の情報が記載されています。

ご使用になる前に、適合を確認してください。

<https://katoji.co.jp/user-carseat/index.html>



表記の説明



本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。



危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
⚠危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
⚠警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
⚠注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。


禁止と警告

表記	表記の内容
	警告や注意を促す事柄を示します。
	禁止事項を示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

ポイントの表記について

 ポイント!	この表記に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。
--	---

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張などをおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

内容物の確認

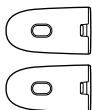
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



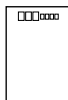
ISOFIXガイド×2



サイドインパクトプロテクションポッド (SIPP) ×2



本書



ユーザー登録ハガキ

警告

窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

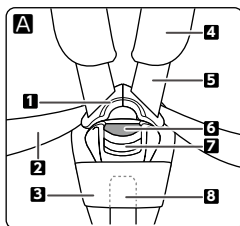
ポイント!

本製品の組み立てには、工具類は必要ありません。

各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



ISOFIXガイド



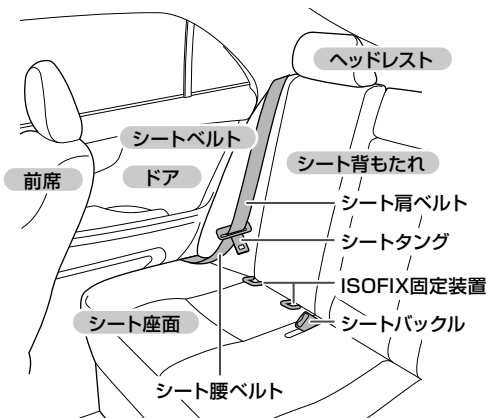
サイドインパクトプロテクションポッド (SIPP)

※ 1つは予備になります。SIPPは同時に2個は使用しません。

- ①ヘッドサポート
 - ②肩ベルトガイド
 - ③ソフトパッド
 - ④ベルトアジャスター
 - ⑤アジャストベルト
 - ⑥ ISOFIX アジャストボタン
 - ⑦リクライニングレバー
 - ⑧腰ベルトパス
 - ⑨ ISOFIX コネクター (インジケーター)
 - ⑩ SIPP スロット
 - ⑪ヘッドサポートアジャストレバー
 - ⑫トップテザーベルト
 - ⑬テザーベルトアジャスター(インジケーター)
 - ⑭テザーフック
 - ⑮収納袋
 - ⑯取扱説明書ホルダー
- A ハーネス/バックル**
- 1 差込みタンブ
 - 2 腰ベルト
 - 3 股ベルトパッド
 - 4 肩ベルトパッド
 - 5 肩ベルト
 - 6 バックルボタン
 - 7 受けバックル
 - 8 股ベルト

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



👉ポイント!


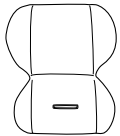
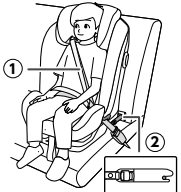
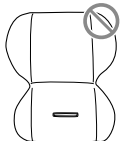
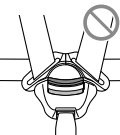
お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用可能なお子さまの範囲

⚠危険

必ず「使用可能なお子さまの範囲」を遵守してください

本製品は、使用するモードにより「使用可能なお子さまの範囲」が異なります。それぞれのモードで既定された範囲に満たない、または超えての使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。

身長・体重 (参考年齢)	使用方法	
	取り付け／装着	ソフトパッドなど
76cm～105cm 9kg～19.5kgまで (15ヵ月*～4.5歳頃)	<p>ハーネスモード</p>  <p>① ISOFIX固定装置 ② (トップ)テザーアンカー</p> <p>【お子さまの保護】 ③ハーネス</p>	 <p>お子さまの肩の位置がヘッドサポートの下端よりも低くなる場合は、必ずソフトパッドを使用してください。</p>
100cm～150cm 36kgまで (3.5歳頃～12歳頃)	<p>ブースターモード</p>  <p>① 3点式シートベルト ② ISOFIX固定装置</p> <p>【お子さまの保護】 ① 3点式シートベルト</p>	  <p>ソフトパッド、本製品のハーネスは使用できません。</p>
	<p>または</p> <p>【固定方法】 ① 3点式シートベルト</p> <p>【お子さまの保護】 ① 3点式シートベルト</p>	

* お子さまが生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

⚠危険

生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を使用しないこと

体重、身長に関わらず、お子さまが生後 15 ヶ月を超えてからご使用ください。

ソフトパッドの使用

本製品は、15 カ月から 12 歳頃までの長期間にわたり使用できるチャイルドシート製品です。このため、より月齢の低いお子さま（4.5 歳頃まで）が適切な状態で使用できるよう、ハーネスモードでご使用いただく、ソフトパッドが付属しています。ヘッドサポートを最下段にしても、お子さまの肩がヘッドサポートの下端に届かない場合は、必ずソフトパッドを装着してください。



⚠危険

ブースターモードではソフトパッドを使用しないこと

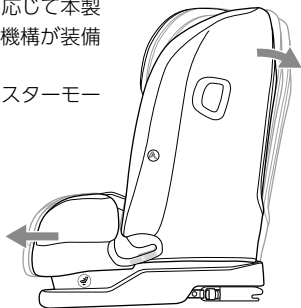
ソフトパッドの使用はハーネスモード時のみです。お子さまを適切に保護することができませんので、ブースターモードではソフトパッドを使用しないでください。

リクライニングの調節

本製品には、お子さまの状態や、座席の状態に応じて本製品の背もたれ部分を微調整するリクライニング機構が装備されています。

リクライニング機構は、ハーネスモード、ブースターモードともに3段階で調節することができます。

参照 P35 > リクライニングの調節

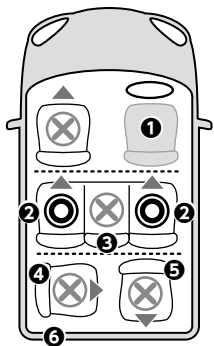


自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き

本製品は、以下の座席の位置と向きで使用することができます。

- ① 助手席^{*1} 使用できません
- ② 後列左右ドア側席 使用できます
- ③ 後列中央席^{*2} 原則使用できません
- ④ 進行方向横向きの座席 使用できません
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 使用できません
- ⑥ 3列以降の座席^{*3} 原則使用できません



⚠ 危険

上記の座席（シート）すべてに取り付けおよび使用可能とは限りません

座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きにあって、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

- ※ 1：使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします
- ※ 2：当社適合車種一覧において、中央座席に関しては適合調査をいたしておりません。ハーネスモードの場合は i-Size に対応した汎用 ISOFIX 固定装置、ブースターモードの場合は ECE/R16 準拠した 3 点式シートベルトが装備されていれば使用できる可能性があります。
- ※ 3：当社適合車種一覧において、3 列目以降の座席に関しては適合調査をいたしておりません。ハーネスモードの場合は i-Size に対応した汎用 ISOFIX 固定装置が装備されていれば使用できる可能性があります。ブースターモードの場合は ECE/R16 準拠した 3 点式シートベルトが装備されていれば使用できる可能性があります。

i - Size について

本製品は、自動車の取扱説明書において i-Size 対応と指定されている座席では原則として使用が可能ですが、諸条件により使用できない、または機能が制限される場合があります。

お子さまの身長による影響

i - Size に対応する座席でも、お子さまの身長が 135cm 以上（～ 150cm）になった場合、車種によっては天井に干渉して使用できなくなる場合があります。

ヘッドレストによる影響

本製品のヘッドサポートの高さを調節すると、座席のヘッドレストに干渉する場合があります、ヘッドレストの調節や取り外しができない座席では使用できなくなることがあります。

テザーアンカーによる影響

本製品は、ハーネスモードでは自動車の（トップ）テザーアンカーを使用します。テザーアンカーの位置や仕様によっては適切な固定ができない場合があります。

本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、適合車種一覧で確認していただけます。

カトージ ホームページ
katoji.co.jp

本製品を取り付けできない座席

本製品は、全ての自動車、全ての座席で使用できるものではありません。必ず以下の2点をご確認ください。

(1) 自動車の取扱説明書

お車の取扱説明書の、チャイルドシートの使用に関する項目を確認して、その指示に従ってください。

(2) 適合車種一覧

i-Size対応の座席でも、機能が制限されたり、使用が困難になる場合もあります。必ず適合車種一覧をご確認ください。

⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

助手席

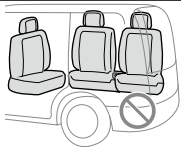
当社ではチャイルドシートの助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席で使用してください。

適合車種一覧で使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、使用不可となっている車種または特定の座席（車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席や、バス、電車、船などの座席では使用できません。



フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃力によって、本製品が押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席での使用はお控えください。

ご使用前に、自動車の取扱説明書をあわせて参照して、エアバッグの取り扱いに関してご確認ください。



⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

チャイルドシートを使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

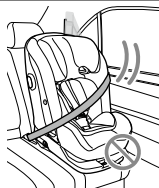
チャイルドシートを使用すると、ドアミラーが見えにくくなったり、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

可動式の座席やドアがチャイルドシートに干渉する座席

ドアの開閉時や座席を移動させた際、ドアや座席がチャイルドシート（樹脂部品など）に干渉する座席で使用すると、チャイルドシートの破損や、自動車の操作への影響、本製品の正しい使用状態の維持に影響をおよぼすおそれがあります。

パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、チャイルドシートを使用することができません。



チャイルドシートを安定して設置できない座席

レーシング用のバケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、チャイルドシートを取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物にチャイルドシートが接触する座席では、チャイルドシートが安定しないため取り付けることができません。取り付け作業中に、安定性に不安を感じた場合は、その座席には取り付けないようにしてください。

また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどの場合もあります。これらの場合、チャイルドシートが安定して設置できないこともありますのでご注意ください。



乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側や2ドアの自動車など、チャイルドシートを使用することで他の乗員が緊急時に脱出しにくくなる座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に、緊急時を想定して、チャイルドシートを置いた状態で他の乗員が容易に乗降できるか、またお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



チャイルドシートの角度が異常になる座席

座面が極端に傾斜しているなど、使用時にチャイルドシートの角度が異常になる座席では使用しないでください。

⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

日常的な使用時に干渉する座席

本製品の操作時、自動車の座席を動かした際、自動車のドアの開閉時に、本製品と自動車の構造物、可動部が干渉する座席では使用しないでください。

本製品の取り付け操作中に動く座席

本製品の取り付け操作中に前後に動く、背もたれの角度が変化する座席には取り付けしないでください。

汎用 ISOFIX 固定装置を装備していない座席（ハーネスモード）

ハーネスモードでは、自動車の ISOFIX 固定装置を使用します。ISOFIX 固定装置／テザーアンカーのない座席では使用することができません。

ブースターモードでは、ISOFIX 固定装置がない座席でも使用可能ですが 3 点式シートベルトが必要となります。

仕様の異なる ISOFIX 固定装置を装備した座席（ハーネスモード）

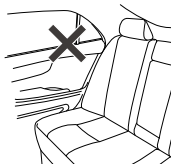
ISOFIX 固定装置が装備されていても本製品が使用可能とは限りません。一部の車種においては、使用可能なチャイルドシートを指定している場合があります、そのような座席では本製品を使用することはできません。

またブースターモードでも、ISOFIX 固定装置を使用する場合は本製品の条件に適合する仕様の汎用 ISOFIX 固定装置が装備されている必要があります。ISOFIX 固定装置の仕様については、自動車の取扱説明書をご確認ください。



3 点式シートベルトを装備していない座席（ブースターモード）

ブースターモードで使用する場合、自動車の 3 点式シートベルトが必要です。シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2 点式シートベルト、5 点式シートベルトでも使用できません。ブースターモードにおいて ISOFIX 固定装置を使用する場合も同様です。



その他、取り付けられない座席

また、座席の形状やサイズ、自動車の座席構造物、自動車のシートベルトやバックルの形状などが影響し、本取扱説明書に従っても、お子さまを正しく拘束できない、しっかりと固定できない、安定しない座席では使用できません。

また、自動車が i-Size に適合していたとしても、その自動車のすべての座席で使用できるとは限りません。

天井に干渉する場合があります

お子さまの身長が 135cm 以上の場合、本製品のヘッドレストを適切に調節すると、一部のスポーツタイプの車両などの左右の座席において、ヘッドレストが天井に干渉する場合があります。このような座席では使用しないでください。

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること
本製品は、使用するモードによって取り付け、設置の方法が異なります。本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定して使用してください。



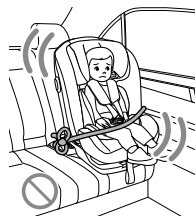
指定以外の耐荷重保持接点を使用しないこと

本製品の取り付けおよび使用にあたっては、本書および本製品に表記されている耐荷重接点（ベルトガイド、ベルトパス、シートベルトの通し位置や経由点、ISOFIX 使用時の接合部など）以外を使用しないでください。本製品の取り付けおよび使用にあたっては、必ず本書や本製品に表記されている指示に従ってください。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

座席への固定方法は使用するモードによって異なります。それぞれ本書および本体で指示する方法でのみ自動車の座席に固定して使用することができます。

ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを固定に使用してはいけません。また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本製品の取り付けに関わる部位や部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがあります。ハーネスモードの場合は ISOFIX コネクターや自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある場合、ブースターモードの場合は 3 点式シートベルトに異常が認められる場合は使用しないでください。

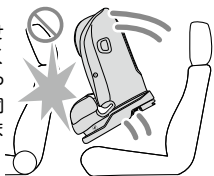


指定以外の向きで使用しないこと

自動車の進行方向に対して前向きの座席に、本製品を前向きに設置、固定して使用します。その他の向きで使用することはできません。



使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと
お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が移動し、運転操作に干渉したり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的、方法でも、絶対に本製品に注油や潤滑剤を使用してはいけません。

シートベルトによる追加の固定を行わないこと（ハーネスモード）

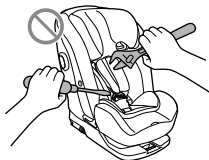
正しい固定に加えて、シートベルトで追加の固定をしないでください。2重の固定により、安全性が増すことはなく、本製品の安全性能に影響を与え、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

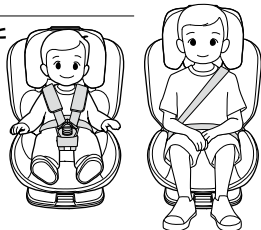
チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり、部品などを追加することは禁止されています。また、指定外のソフトパッドやインサート類を使用しないでください。



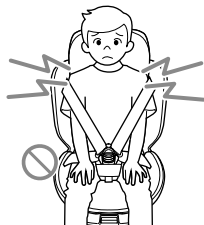
常にハーネス、シートベルトを正しい状態で使用すること

お子さまを本製品に乗せる場合、ハーネスモードではハーネスを調節して正しい状態にして、バックルをしっかりと留めて使用してください。ブースターモードでは、3点式シートベルトを、所定の肩ベルトガイド、腰ベルトパスに通し、正しく調節してシートバックルをしっかりと固定して使用してください。ハーネス、3点式シートベルトは、適宜状態を確認して、常に正しい状態でご使用ください。



ベルト類にねじれ、ゆるみがないようにして装着すること

ハーネス、3点式シートベルトは、ねじれがないことを確認して、しっかりと締め付けて使用してください。



使用可能な範囲を守ること

本製品が認証を受けた基準により、使用できる条件と本製品の使用する向きおよび使用方法とそれに応じた使用可能なお子さまの範囲が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、お子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスやシートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

体型が合わなくなった場合は使用しないこと

ハーネスを調節してもお子さまの身体を正しく固定できない場合には、本製品が所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。



お子さまを乗せたまま高所に置かないこと

本製品が落下して、重大な事故につながるおそれがあります。テーブルの上や椅子の上、階段近く、自動車の屋根の上、買い物カートなど、転落すると危険な場所に、お子さまを乗せたまま本製品を置かないでください。たとえ、ハーネスで正しく固定していたとしても、重大な事故につながります。

お子さまを自動車内に放置しないこと

チャイルドシートの使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



チャイルドシートを使用すること

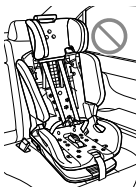
多くの自動車事故が、短い距離、短い時間の移動時に発生しています。どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、必ずチャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

お子さまから目を離さないこと

お子さまを本製品に乗せたままその場を離れるなどして放置してはいけません。安全に配慮しつつ、お子さまの状態、様子には、常に注意を払ってください。

カバー類や部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるため、取扱説明書で指示がない部品（カバー類、ウレタン、衝撃緩衝材を含む）や安全に関するラベル、シールは、決して取り外して使用しないでください。

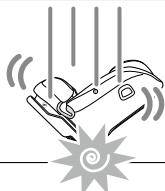


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

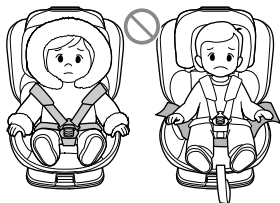
衝撃を受けた製品の使用中止

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強く挟んだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また、本製品の部品が欠落した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は、修理ができず、保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



過度の負担を掛けないこと

チャイルドシートが損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしたりしないでください。また、本製品が損傷した場合は使用を中止してください。



不適切な着衣で使用しないこと

お子さまの脱落や飛び出しを防ぐため、股ベルトを挟めない着衣や滑りやすい敷物の使用は避け、厚着の際はハーネスを確実に調節するか着衣を調整するなど、お子さまの身体が常に正しく固定されるようにしてください。

チャイルドシートの下にクッションや敷物などを敷かないこと
チャイルドシートと座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を敷くと、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

チャイルドシートを正しく取り付けの際に、自動車の座席にくぼみやキズが生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



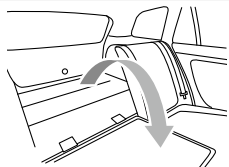
走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること
他の同乗者やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを確認してください。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作や座席の移動をした場合には状態を確認すること

本製品を自動車の座席に取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、固定の状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後は、取り付け状態を確認してください。

指定外のカバー類やソフトパッド・クッション類を使用しないこと

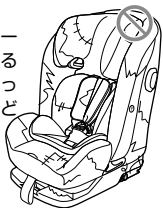
本製品のカバー類や、ソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものを使用してはいけません。

付属品以外のソフトパッドを使用しないこと

本製品付属のソフトパッドは安全基準を満たした部品です。当社の別製品のものを含めてソフトパッドやインサート類をこれに替えて使用したり、追加して使用したり、付属のソフトパッドに加工をしたりしないでください。

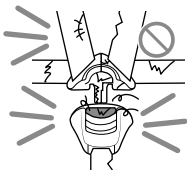
中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品や過去の使用履歴や保管状況、使用状況が不明なチャイルドシートは使用しないでください。見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、再利用による事故を防ぐため使用しなくなった本製品は、「廃棄品、使用不可」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。



ハーネス、シートベルトに異常がある場合は使用しないこと
本製品の使用中に、お子さまが飛び出したり、落下したりするおそれがあります。本製品のバックル、ハーネスに異常を感じた場合や自動車の3点式シートベルトのシートバックル、シートベルトに異常を感じた場合は、使用を中止してください。

ハーネス、シートベルト以外の方法でお子さまの身体を固定しないこと

お子さまの身体の固定は、ハーネスモードでは本製品のハーネス、ブースターモードでは自動車の3点式シートベルトによってのみ、それぞれ行うことができます。お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがありますので、ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、自動車内で使用するチャイルドシートおよびブースターとしてのみ使用することができます。家庭内で使用するベビーチェアやブースターチェアとしてなど、本来の目的以外で使用すると、本製品が落下や転倒をしたり、お子さまが落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げないこと

お子さまが落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。たとえハーネスでお子さまの身体を正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げないでください。

お子さまの手足を挟まないようにすること

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を操作する際にはお子さまの手足に注意し、本製品と自動車の座席との間に挟まないよう注意してください。

⚠️注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

バックルは常に留めておくこと

バックル内にゴミなどの異物が入ると、正常に機能しなくなるおそれがあります。お子さまを乗せていない場合でも、ほこりやゴミが入らないように常にバックルを留めておくようにしてください。

車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物は適切に固定するようにしてください。

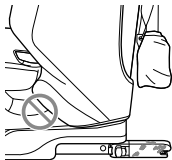


自動車のドアや可動式シートの操作に干渉しないように取り付けること

チャイルドシートは、自動車のドアや、可動式シートの操作に干渉しない座席に取り付けてください。本製品や自動車が破損したり、キズが付くおそれがあります。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従って行うようにしてください。



本製品の固定に関わる部位、部品は常に清潔にしておくこと

自動車の汎用 ISOFIX 固定装置やテザーアンカー、本製品の ISOFIX コネクター、テザーフックは常に清潔に保つようにして、必要に応じてお手入れするようにしてください。これらに汚れやほこり、食べ物カスなどのゴミが付着していると、本製品の安全性能に影響をおよぼすおそれがあります。

ISOFIX ガイドに汚れがないか頻繁に確認すること

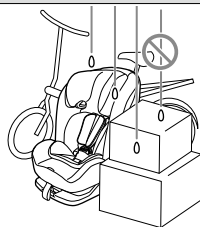
汚れ、埃、食べかすなどが ISOFIX ガイド内に侵入すると本製品の信頼性が低下するおそれがあります。ISOFIX ガイドは必要に応じて、取り外してお手入れしてください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質したりするなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天や直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。



バックル、ハーネスを自動車のドアや座席に挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアで挟んだり、座席に挟んだりしないように注意してください。お子さまを乗せていない場合でも、ほこりやゴミが入らないように常にバックルを留めておくようにしてください。

ハーネス、ソフトパッドなどの部分をつかんで本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際は、本体を両手でしっかりと持って持ち上げてください。ハーネスやソフトパッド、生地部分などをつかんで持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。

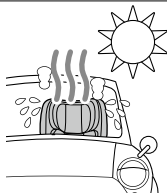
トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので、長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。

野外に駐車する際には、直射日光を避けて、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

チャイルドシートを長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず、取り外して車外の安全な場所で適切に保管してください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

ご購入前、ご使用前にお使いの自動車の座席に正しく本製品を取り付けられるか、ご確認ください

正しく取り付けできないと、衝突や急制動の際に、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。

長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、ストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適に使用していただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、チャイルドシートとして使用する場合には、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

疑問点、ご不明な点は、販売店またはお客様サービスに問い合わせください

お手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合や、部品の交換、補修については、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

取扱説明書の携行

本取扱説明書は、シートカバー内側の取扱説明書ホルダーに入れておき、必要な際にはいつでも参照できるようにしておいてください。

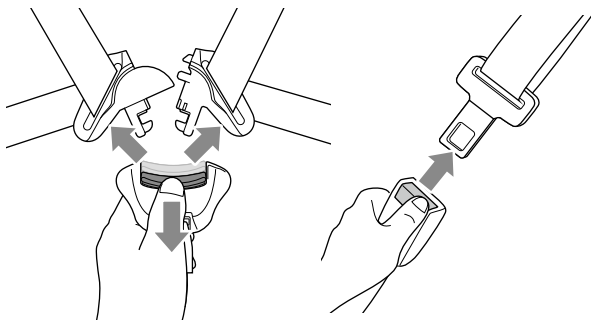
取扱説明書は、本製品を使用しなくなり廃棄するまで常に携行してください。



緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンまたはシートベルトのバックルボタンを操作してハーネスまたは自動車のシートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。

そして直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、以下の方法でお子さまを脱出させてください。



バックルボタンが機能しない場合

[ハーネスモード]

- ISOFIX 固定装置／テザーフックを外し、本製品ごと脱出させる
- 市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断する

[ブースターモード]

- 市販のシートベルトカッターなどを使用してシートベルトを切断する

基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な使いかたについて説明しています。実際に使用する際は、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

⚠危険

不適切な使用は、思わぬ事故につながります

本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従い、適切に使用してください。

バックルの使いかた **ハーネスモード**

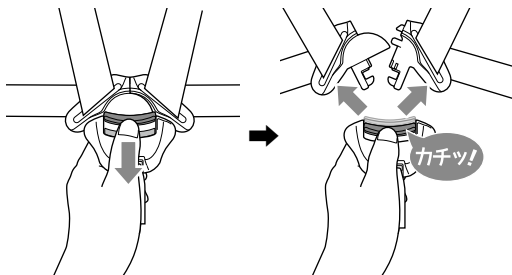
ハーネスモードでは、お子さまには本製品のハーネスを装着し、バックルを留めて使用します。

👉ポイント!

ブースターモードでは本製品のバックルは使用しません。

バックルの外しかた

01
バックルを外すには、受けバックルを握ってバックルボタンを押し下げます。「カチッ」と音がして、差込みタンブが外れます。



⚠注意

バックルの操作は固めです

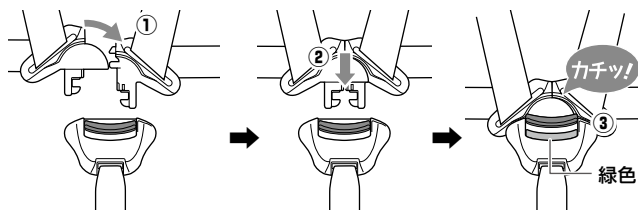
バックルは、安全のため操作が固めになっています。お子さまの腹部を押さないように、受けバックルを手で握ってバックルボタンを操作してください。

バックルの留めかた

01

バックルを留めるには、ハーネスをねじらないように注意して、

- ①向かって左側の差込みタングを、右側の差込みタングに乗せるようにして合わせて、
- ②そのまま受けバックルに差し込み、
- ③「カチッ」と音がするようにしてバックルを留めます。バックルが正しく留まると、バックルボタンの下に緑色のインジケーターが現れます。



02

軽くハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

ポイント!

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

危険

バックルは確実に留めて使用してください

バックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客サービスまでご連絡ください。

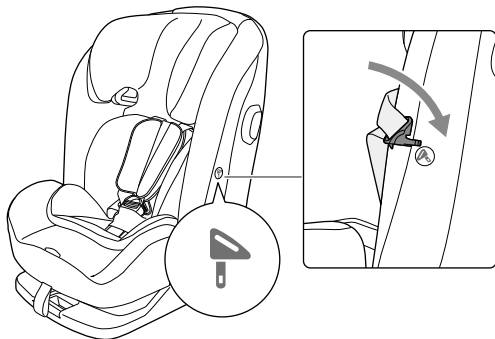
注意

バックルを清潔に保ってください

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

差込みタンク受け ハーネスモード

本製品には、お子さまの乗せ降ろしに便利な差込みタンク受けが装備されています。ハーネスモードで使用する際、シェルの左右側面にある差込みタンクの図が刺繍された部分に差込みタンクを乗せるとマグネットで留めておくことができます。



⚠注意

マグネット（磁石）が使用されています

一部の医療機器には影響を与えるおそれがありますのでご注意ください。また、時計、磁気テープ、磁気カードなど磁気の影響を受けるおそれがあるものは近づけないでください。

ハーネスの長さ調節 ハーネスモード

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。

⚠危険

肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください

肩ベルトが締められすぎたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

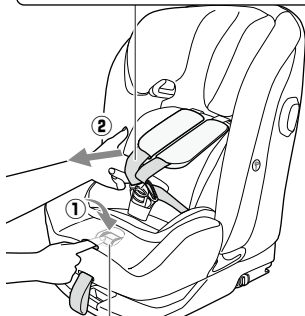
01

肩ベルトをゆるめるには、

- ①シートの前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、
- ②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



肩ベルトを持って引き出します。肩ベルトパッドを持つと引き出せません。



ベルトアジャスターは穴（切れ込み）の中にあります。外側からは見えません。

02

- ①アジャストベルトを手前に引くと、
- ②肩ベルトが締まります。

注意

アジャストベルトはゆっくりと引いてください

勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。ハーネスが締めすぎると、お子さまに負担が掛かります。肩ベルトは適切な長さに締め付けてください。

ヘッドサポートの高さ調節

お子さまの成長にあわせて、ヘッドサポートの高さを調節します。

ヘッドサポートの高さを調節することにより、ハーネスモードではハーネス（肩ベルト）の高さ、ブースターモードでは3点式シートベルトを通す肩ベルトガイドの高さが自動的に調節されます。

⚠危険

ハーネス、自動車のシート肩ベルトは必ず適切な高さに調節してください

高さが適切でないと、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスや自動車のシート肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

ハーネスモードの場合

参照 P55 > お子さまの乗せかた > 06

ブースターモードの場合

参照 P75 > お子さまの乗せかた > 05

01

ハーネスモードの場合は、ハーネスをゆるめておきます。

参照 P32-33 > ハーネスの長さ調節

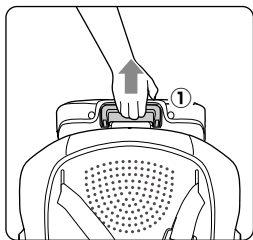
👉ポイント!

ハーネスとヘッドサポートは連動しています。ハーネスをゆるめておかないと、ハーネスが伸びきって、ヘッドサポートが高くなる方向に動きません。

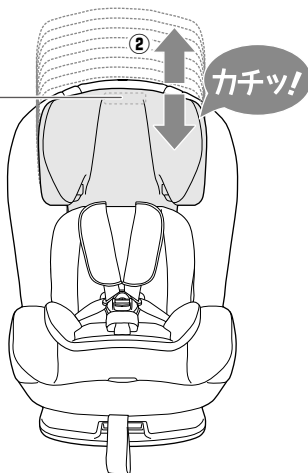
02

- ①ヘッドサポートアジャストレバーを握りながら、
- ②ヘッドサポートを上下にスライドさせて、ヘッドサポートの高さを調節します。
目的の高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドサポートが固定されます。

ヘッドサポートの高さは9段階で調節できます。



ヘッドサポートアジャストレバー

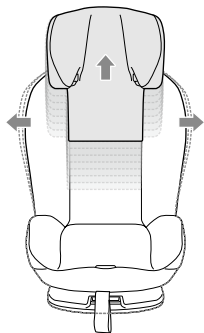


👉ポイント!

本製品では、お子さまの成長に合わせて自動的に本製品の背もたれの幅を調節する機能が搭載されています。

ヘッドレストを高くすると背もたれの側面部が広がり、ヘッドレストを低くすると側面部が狭まります。4段階で自動的に調節され、お子さまの安定性と快適性がより高まります。

ヘッドサポートを低くした状態（または高くした状態）で適切に取り付けできていた座席でも、ヘッドサポートを調節することにより、適切な取り付けができなくなる場合があります。このような場合、自動車のヘッドレストの調節や、リクライニングの調節をしてください。それでも適切に取り付けできない場合、その座席での使用は中止してください。

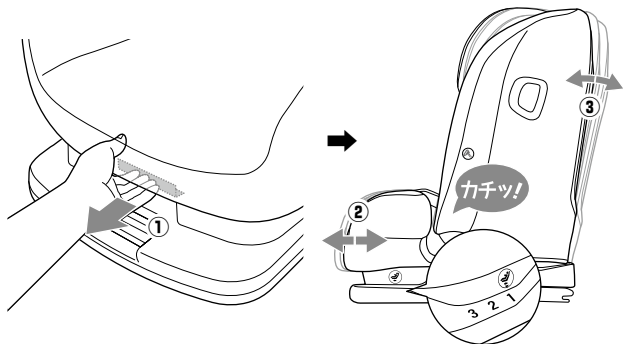


リクライニングの調節

リクライニングを調節することにより、背もたれの角度を微調整することができます。ハーネスモード、ブースターモード、ともに3段階で調節して使用することができます。リクライニングを調節して、シート背もたれと本製品の背もたれの角度を合わせるようにしてください。

01

- ①前端部のリクライニングレバーを握り、
- ②前後にスライドさせます。
- ③目的の角度でリクライニングレバーから手を放すと、背もたれが固定されます。
リクライニングは3段階で調節することができます。



ソフトパッド

ソフトパッドは、ハーネスモードでのみ使用します。

ヘッドサポートを最も低い位置に調節しても、ヘッドサポートの下端よりもお子さまの肩の位置が低くなる間は、必ずソフトパッドを取り付けた状態で使用してください。

ブースターモードではソフトパッドは使用できませんので、取り外してください。

👉ポイント!

ハーネスモードでも、お子さまが成長してヘッドサポートの姿勢が窮屈になるようになったら、ソフトパッドを取り外して使用してください。

⚠危険

ハーネスを正しい状態にするため、ソフトパッドを使用すること

ハーネスモードでのご使用时、ヘッドサポートを最下段にしても、お子さまの肩がヘッドサポートの下端に届かない場合は、必ずソフトパッドを装着した状態でご使用ください。

ブースターモードではソフトパッドを使用しないこと

ブースターモードでの使用時には、ソフトパッドを取り外してください。

取り外しかた

01

あらかじめハーネスをゆるめ、バックルを外しておきます。

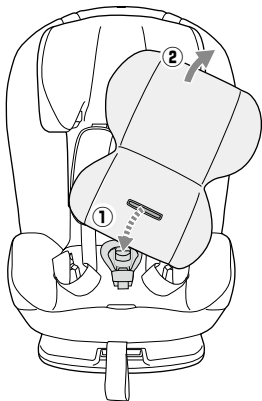
参照 P32-33 >ハーネスの長さ調節

02

①股ベルトパッド（受けバックル）をソフトパッドの通し穴から抜いて、

②ソフトパッドを取り外します。

股ベルトパッドを取り外した場合（抜けてしまった場合）は、必ず取り付け直してください。



👉ポイント!

股ベルトパッドの取り外しは操作がきつめです。あらかじめ受けバックルから股ベルトパッドを抜き取っておくと作業がやりやすくなります。

参照 P82 >股ベルトパッド

⚠危険

股ベルトパッドを取り付けること

お子さまの安全を守るための大切なパーツです。ハーネスモードで使用するとき、ソフトパッドを取り外した状態でも、必ず取り付けてください。

03

取り付けは逆の手順で行います。

サイドインパクトプロテクションポッド (SIPP)

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトプロテクションポッド (SIPP) が同梱されています。

SIPP は、ハーネスモードでもブースターモードでも使用します。

SIPP は、お子さまを乗せて使用する状態で自動車のドア側の SIPP スロットに取り付けてください。

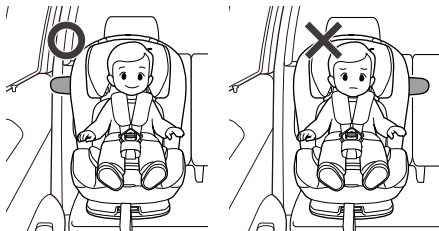
SIPP は 2 個同梱されていますが、1 つは予備となります。SIPP を 2 個同時には使用しないでください。

また、実際にご使用になる前に、SIPP を取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないかご確認ください。ドアに干渉する場合は SIPP は使用しないでください。

⚠注意

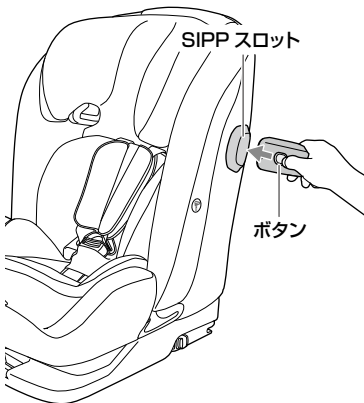
SIPP はドア側にして取り付けること

SIPP は自動車のドア側になるように取り付けます。中央席側 (他の乗員側) に取り付けると、衝撃を受けた際に中央席側の乗員に SIPP があたり、ケガをするおそれがあります。



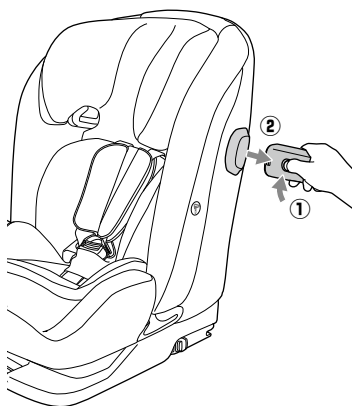
01

SIPP を取り付けるには、取り付ける側の SIPP スロットに、ボタンを手前側にして差し込みます。「カチッ」と音がして、SIPP が固定されたことを確認してください。



02

取り外すには、
①SIPP のボタンを押しながら、
②引き抜きます。



ハーネスモードで使用する

身長76cm～105cm かつ体重9kg～19.5kgのお子さま（生後15ヵ月から4.5歳頃まで）は、本製品を自動車のISOFIX 固定装置とトップテザーで固定して、お子さまは本製品のハーネスを装着して使用します。

お子さまの体格、成長、着衣の状態にあわせてソフトパッドをご使用ください。

身長・体重 (参考年齢)	使用方法	
	取り付け/装着	ソフトパッドなど
76cm～105cm 9kg～19.5kgまで (15ヵ月*～4.5歳頃)	<p>ハーネスモード</p>  <p>【固定方法】 ①ISOFIX固定装置 ②(トップ)テザーアンカー</p> <p>【お子さまの保護】 ③ハーネス</p>	 <p>お子さまの肩の位置がヘッドサポートの下端よりも低くなる場合は、必ずソフトパッドを使用してください。</p>

⚠危険

安全のため、以下の事項を必ずお守りください

- 本製品をISOFIX 固定装置およびテザーアンカーで固定すること
必ず両方で固定してください。いずれか一方の固定では絶対に使用しないでください。
- お子さまはハーネスを装着すること
他の方法でお子さまを固定しないでください。
- 生後15ヵ月を超えるまでは使用しないこと
- お子さまの肩の高さが、ヘッドサポートより下になる場合はソフトパッドを使用すること

👉ポイント!

ブースターモードでは、取り付けかた、使用方法が異なります。ブースターモードでの使用の場合は以下を参照してください。

参照 P58-79 > ブースターモードで使用する

自動車の座席への取り付け

⚠危険

自動車の取扱説明書を確認すること

お車の種類や座席により、ISOFIX 固定装置への取り付け、トップテザーベルトの取り付け、チャイルドシートの使用に関して、特定の操作が必要になる場合があります。必ず、自動車の取扱説明書の該当する箇所をよく読み、正しく本製品を取り付け、使用してください。

テザーアンカーのない座席では本製品は使用できません

車種、座席によっては、ISOFIX 固定装置が装備されていたとしても、テザーアンカーが装備されていない可能性があります。

本製品は、チャイルドシートで使用する場合、ISOFIX 固定装置とテザーアンカー、両方への取り付けが必須です。テザーアンカーがない場合は、たとえ ISOFIX 固定装置が装備されていたとしても、その座席には取り付け使用することはできません。

⚠注意

安全のために取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

お子さまを本製品に乗せた状態で、取り付け、取り外しの作業はしないでください。

トップテザーの取り付けについて

本製品のトップテザーを取り付ける、自動車の座席のテザーアンカーの位置は、車種や座席によって異なります。

あらかじめ、自動車の取扱説明書を参照して、テザーアンカーの位置を確認してください。

テザーアンカーの代表的な位置は以下の通りです。

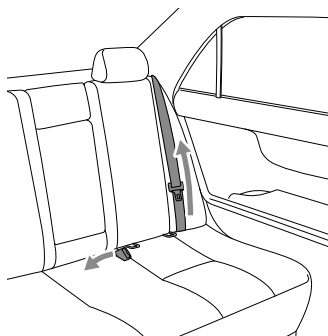
- 座席の裏側
- 座席の上部
- トランクの底面
- 天井 など

01

あらかじめ、座席のテザーアンカーの位置を確認しておきます。

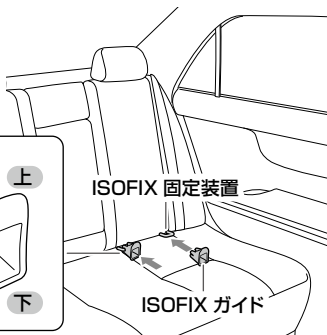
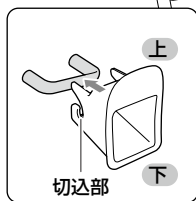
02

座席のシートベルトは留めずに、巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないように注意してください。



03

ISOFIXガイドを、座席のISOFIX固定装置に差し込みます。ISOFIXガイドの切込部をISOFIX固定装置に差し込むようにして取り付けてください。



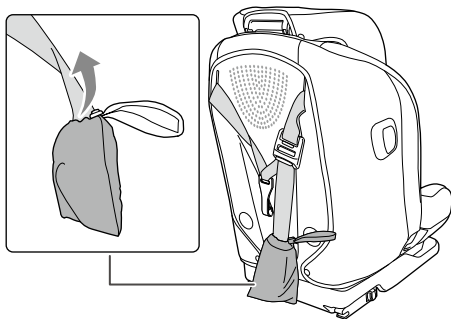
👉ポイント!

車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできます。ただし ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地にキズがつく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ISOFIX固定装置の場所や使いかたについては自動車の取扱説明書を参照してください。

04

座席に本製品を置き、収納袋からトップテザーベルトを取り出します。

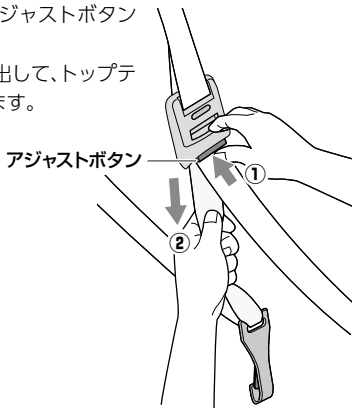


👉 ポイント!

収納袋はトップテザーベルトに縫い付けられていますので取り外しできません。

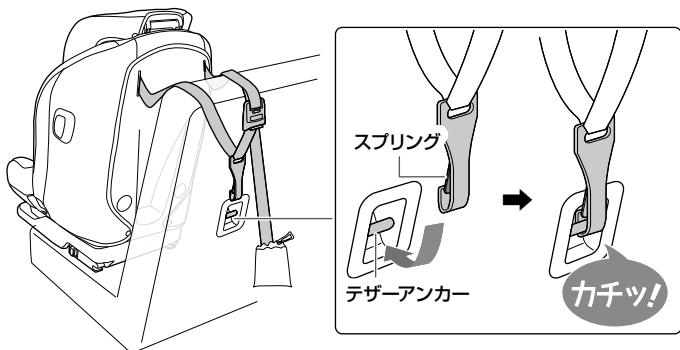
05

- ①テザーベルトアジャスターのアジャストボタンを押しながら、
- ②テザーフック側のベルトを引き出して、トップテザーベルトをしっかりとゆるめます。



06

テザーフックを、自動車のテザーアンカーに取り付けます。トップテザーベルトはクロスさせたり、ねじらないように注意してください。テザーフックのスプリングをテザーアンカーに押し付けて固定します。トップテザーベルトが短くてテザーアンカーに届かない場合は、トップテザーベルトをさらにゆるめてください。



ポイント!

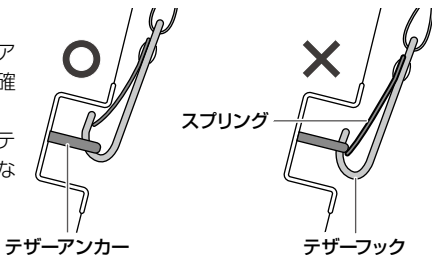
テザーアンカーの形状、位置は、自動車の車種によって異なります。自動車の説明書を必ずご確認ください。図はシート背もたれ背面にある場合のものです。

車種によってはトップテザーの使用にあたり、一定の操作が必要な場合があります。また、トップテザーの仕様によっては、トップテザーベルトを使用することにより、自動車のヘッドレストや座席に取り付け痕やキズが付く場合があります。あらかじめご了承ください。

07

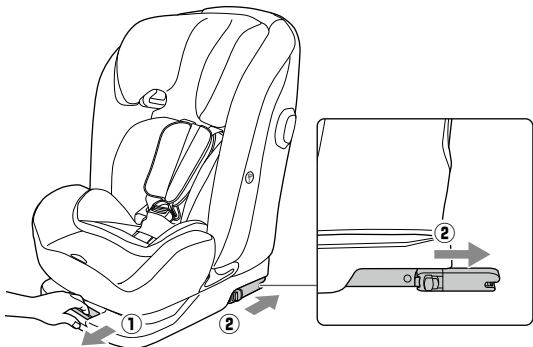
テザーフックが、正しくテザーアンカーに取り付けられているか確認します。

テザーフックのスプリングがテザーアンカーに引っ掛かっていないことを確認してください。

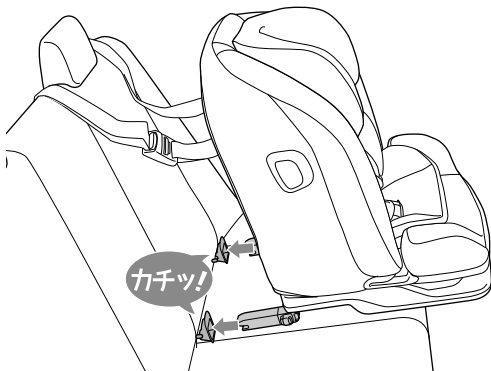


08
トップテザーベルトを引っ張って、テザーアンカーから抜けないことを確認します。

09
①ISOFIX アジャストボタンを手前に引いて、
②ISOFIX コネクターを引き出しておきます。



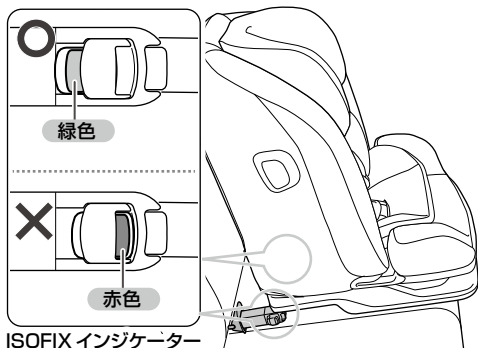
10
左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。
左右それぞれカチッ、カチッ、と音がして座席の ISOFIX 固定装置に固定されるま
でしっかりと差し込んでください。



11

ISOFIX コネクターのインジケーターを確認します。必ず、左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない（赤色のまま）場合は、もう一度操作をやりなおしてください。

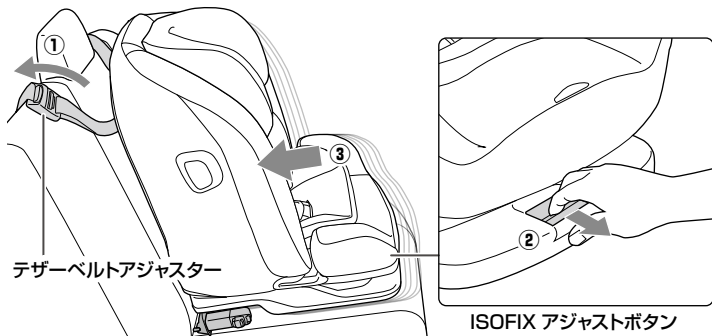


12

①テザーベルトアジャスターが、シート背もたれと本製品の間に挟まれないように移動させてください。

② ISOFIX アジャストボタンを押し込み、

③本製品をシート背もたれ側に押し付けます。本製品の背もたれ部分がシート背もたれに接するようにしっかりと押し込んでください。

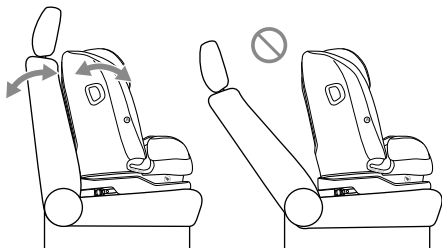


13

シート背もたれと本製品の背もたれの角度が近くなるよう、本製品のリクライニング、シート背もたれのリクライニングを調節してください。

シート背もたれがリクライニングできる座席では、シート背もたれを倒した状態にしないでください。

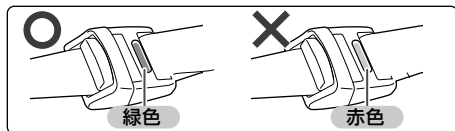
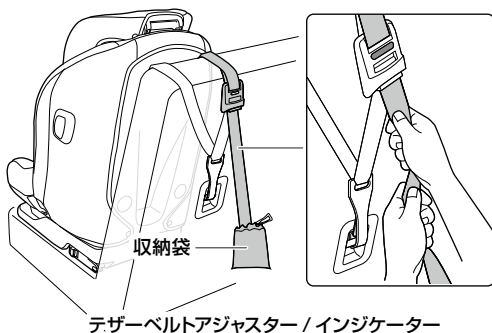
参照 P35 > リクライニングの調節



14

収納袋側のトップテザーベルトを、強く引いて締め付けます。

トップテザーベルトから手を放してもテザーベルトアジャスターのインジケーターが緑色になるまで、締め付けてください。



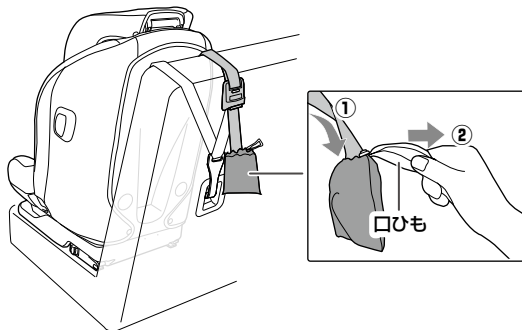
⚠危険

ISOFIX アジャストボタン、リクライニングの操作を行った場合はインジケーターを確認すること

トップテザーの取り付け後、ISOFIX アジャストボタンや、本製品またはシート背もたれのリクライニングの操作を行うと、トップテザーの締め付け状態に影響を及ぼします。これらの操作を行った場合は、必ずテザーベルトアジャスターのインジケーターを確認してください。赤色になっていた場合は、もう一度トップテザーベルトを締め付けて、インジケーターが緑色になったことを確認してからご使用ください。

15

- ①余ったトップテザーベルトを短くたんで収納袋に入れ、
- ②口ひもを引いて、口をしっかりと閉じておきます。

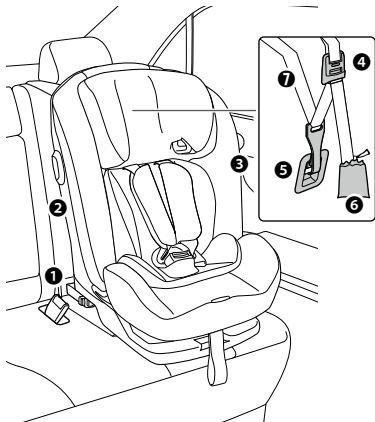


⚠警告

トップテザーベルトの余長部分は、短くたんで収納袋に収納しておくこと
トップテザーベルトの余長部がお子さまに絡まったり、足に絡まって転倒するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。本製品の取り付け後は、必ずトップテザーベルトの余長分は短くたんで収納袋の中に収納しておいてください。

16

以下のチェックリストを確認して、各部が正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ①左右の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置に正しく固定されていること
・ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること
- ②本製品の背もたれ部が、シート背もたれに接していること
- ③ SIPP が中央座席側に取り付けられていないこと（ドア側座席に取り付けること）
- ④トップテザーベルトが強く締め付けられ、インジケーターが緑色になっていること
- ⑤テザーフックがテザーアンカーに正しく固定されていること
- ⑥トップテザーベルトの余長部分を短くたんで収納袋に収納していること
- ⑦トップテザーベルトがクロスしていたり、ねじれていたりしないこと

👉ポイント!

本製品の背もたれ部とシート背もたれ部に大きく隙間が空く場合は、本製品のリクライニング、またはシート背もたれのリクライニングを調節してください。この操作を行うと、トップテザーベルトがゆるみますので、トップテザーベルトを締め付けなおしてください。

参照 P46 > 自動車の座席への取り付け > 14

取り外し

以下の手順で取り外します。

01

最初にトップテザーベルトをゆるめておきます。

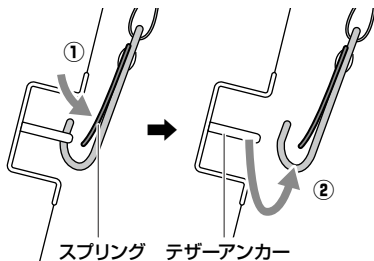
参照 P42 > 自動車の座席への取り付け > 05

02

- ①テザーフックのスプリングを押し込み、
- ②テザーアンカーから取り外します。

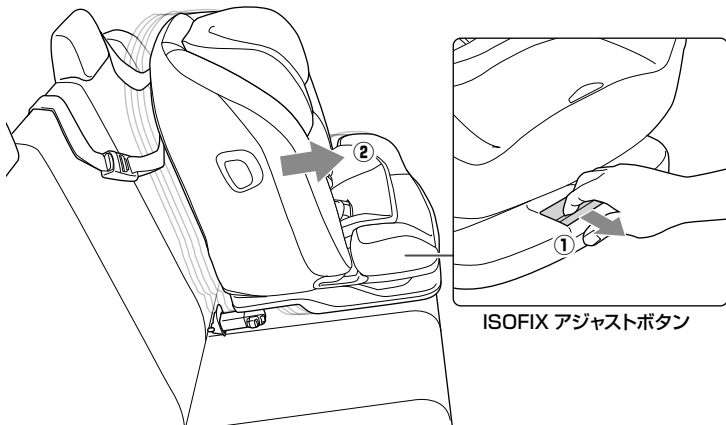
ポイント!

先にトップテザーベルトをゆるめておかないと、テザーフックは取り外できません。



03

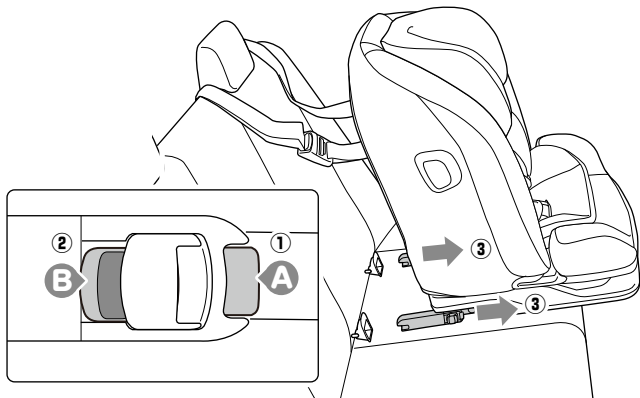
- ① ISOFIX アジャストボタンを押し込んで、
- ③本製品を手前側に引き出します。



04

ISOFIX コネクターを外します。トップテザーベルトに注意して操作してください。ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。左右の ISOFIX コネクターは同時に操作してください。

- ① A のリリースボタンを押しながら、
- ② B のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除し、
- ③本製品を手前に引き出して左右同時に ISOFIX 固定装置から抜き取ります。



👉ポイント!

ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながら、本製品を手前に引いて取り外します。本製品を手前に引かないと、ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

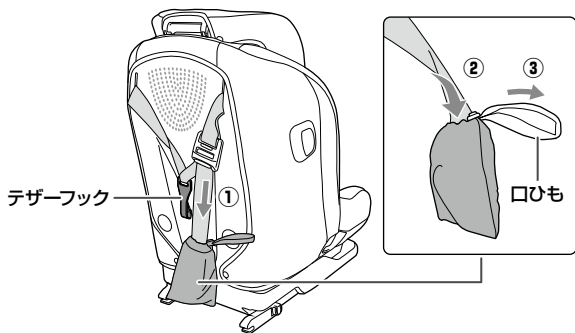
ISOFIX コネクターが片側だけ外れると、取り外しができなくなります。その場合は、本製品をシート背もたれ側に押し込んで、左右の ISOFIX コネクターをもう一度 ISOFIX 固定装置に取り付けてから、再度取り外しを行ってください。

作業スペースが狭く ISOFIX コネクターの操作をしにくい場合は、ISOFIX アジャストボタンを使って、本製品を少し前方に引き出すと作業がしやすくなります。

参照 P49 > 自動車の座席への取り付け > 03

05

- ①締め付ける要領で、収納袋側のトップテザーベルトをしっかりと引いておきます（テザーフック側のベルトが短くなります）。
- ②トップテザーベルトを短くたたんで収納袋に収納し、
- ③口ひもを引いてしっかりと閉じておきます。



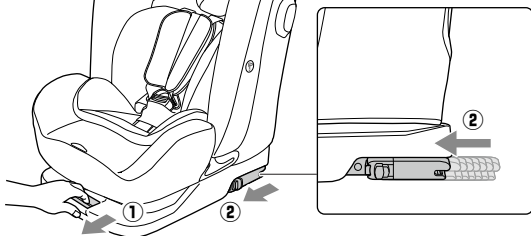
警告

トップテザーベルトは、短くたたんで収納袋に収納しておくこと

トップテザーベルトの余長部がお子さまに絡まったり、足に絡まって転倒するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、ブースターモードでの使用時にはトップテザーベルトが干渉して適切な取り付けができなくなるおそれがあります。

06

- ①ISOFIX アジャストボタンを手前に引いて、
- ②ISOFIX コネクターを本体に収納します。最後までしっかりと収納してください。



⚠注意

ISOFIX コネクターは本体に収納しておくこと

ケガ、破損、キズの原因となります。本製品を取り外した後、ISOFIX コネクターは本体に収納しておいてください。

本製品は、車内には置かず自動車から出してください。

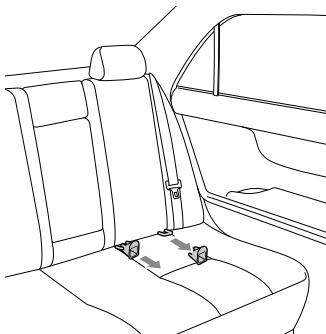
07

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。

⚠注意

ISOFIX ガイドは取り付けたままにしないでください

ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、同乗者がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



お子さまの乗せかた

お子さまを乗せる前に、本製品がハーネスモードで正しく固定されていることを確認してください。

参照 P48 > 自動車の座席への取り付け > 16 > チェックリスト

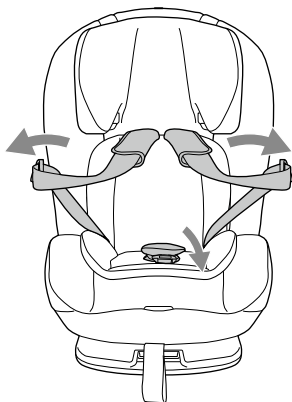
ソフトパッドを確認します。

参照 P36-37 > ソフトパッド

01

あらかじめハーネスを十分にゆるめておきます。

参照 P32-33 >ハーネスの長さ調節



02


お子さまが受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出しておきます。差込みタングは、差込みタング受けに留めておくと、よりお子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。

参照 P32 >差込みタング受け

03

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を起こして両足の間に入れます。



 **ポイント!**

おさまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



 **危険**

正しい姿勢で座らせてください

誤った姿勢で乗せるとおさまがハーネスを正しく装着できず、衝突や急制動の際におさまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

04

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認してください。

- ①肩・腰・股の各ベルトにねじれがないことを確認しながら、おさまの腕を肩ベルトに通します。肩ベルト（パッド）を肩にあわせて、
- ②腰ベルトが骨盤の上を通るように調節して、
- ③「カチッ」と音がするように、しっかりとバックルを留めます。



 **危険**

ハーネスとバックルを正しくお使いください

誤った状態で使用するとおさまを適切に保護することができません。

 **警告**

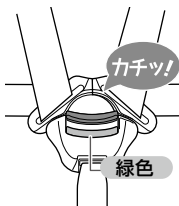
ハーネスにねじれがないことを確認すること

ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

05

バックルボタンの下部に**緑色のインジケーター**が表示されていることを確認してください。

参照 P31 >バックルの留めかた



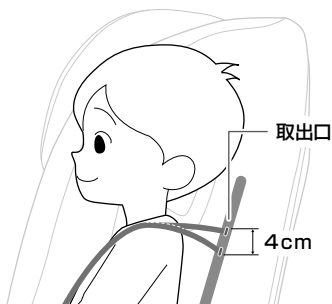
⚠危険

緑色のインジケーターが表示されていることを確認すること

差込みタンクが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。お子さまが操作されてバックルが外れたりすることもありますので、本製品の使用中は適宜バックルの状態を確認してください。差込みタンクを受けバックルに差し込んででも緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

06

ヘッドサポートを動かして、肩ベルトの高さを調節します。肩ベルトの取出口が、お子さまの肩と同じ高さか、肩より少し下（4cm以内）にくるのが正しい位置です。



参照 P33-35 >ヘッドサポートの高さ調節

👉ポイント!

肩ベルトの高さの調節を行うと、ハーネスが締め付けられます。ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをさらにゆるめてからバックルを留めます。

⚠危険

肩ベルトは適切な高さに調節すること

肩ベルトの高さが適切でないと衝突や急制動の際にお子さまに過度の負担がかかったり、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

やさしく、ゆっくりと操作してください

肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないように注意して行ってください。

👉ポイント!

肩ベルトの高さは使用毎に調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用前には確認するようにしてください。

ソフトパッドを取り外け、取り外した場合は肩ベルトの高さ調節が必要となります。

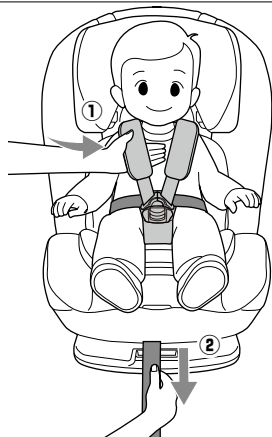
また、お子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

07

肩ベルトとお子さまの間に、

- ①片手の掌を差し込み、
- ②別の手でアジャストベルトをゆっくりと引いて、締め付けます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれる程度まで締め付けるようにします。



⚠危険

アジャストベルトを、勢いよく引っ張らないでください

肩ベルトは、ゆるすぎると落下の危険があり、締めすぎるとお子さまに負担をかけるため、必ず適切な強さで調節してください。

👉ポイント!

締め付けすぎた場合は、一旦ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

08

以下のチェックリストを確認して、各部が正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ①肩ベルトの高さが適切に調節されていること
- ②お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ③ハーネスが適切に締め付けられていること
- ④肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑤バックルがしっかりと留まっていること
緑色のインジケーターが表示されていること
- ⑥ソフトパッドが適切に使用されていること

👉ポイント!

本製品のバックルはお子さまが外せないよう固くなっていますが、万が一の事故を防ぐため、お子さまの力が強くなってきたら、バックルに触れないよう、日頃から繰り返し言い聞かせてください。

⚠危険

ハーネスを正しく装着していないと、衝突や急ブレーキの際にお子さまを守ることができません。以下を必ず確認してください

- ・ハーネスに、ゆるみ・ねじれがないか。
- ・ハーネスが身体にフィットしているか。
- ・肩ベルトが腕や首を圧迫していないか。
- ・腰ベルトがお腹や太ももの位置にすれていないか。


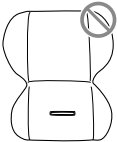
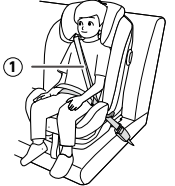
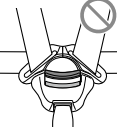
※使用中も、ベルトがずれたり緩んだりしていないか、こまめにチェックしてください。

ブースターモードで使用する

身長100cm～150cm かつ体重36kg までのお子さま（3.5歳頃から12歳頃まで）は、本製品のハーネスを本体内部に格納して、自動車の3点式シートベルトを装着するブースターシートとして使用します。また、より安全に使用するため、ブースターモードでもISOFIX 固定装置を併用することができます。

ブースターモードではソフトパッドは使用することができません。

なお、ブースターモードではトップテザーは使用しません。

身長・体重 (参考年齢)	使用方法	
	取り付け／装着	ソフトパッドなど
100cm～150cm 36kgまで (3.5歳頃～12歳頃)	<p>ブースターモード</p>  <p>【固定方法】 ①3点式シートベルト ②ISOFIX固定装置</p> <p>【お子さまの保護】 ①3点式シートベルト</p>	
	 <p>【固定方法】 ①3点式シートベルト</p> <p>【お子さまの保護】 ①3点式シートベルト</p>	 <p>ソフトパッド、本製品のハーネスは使用できません。</p>

ブースターモードへの切り替え

ブースターモードで使用するには、ハーネスを本体内部に格納する必要があります。ハーネスモードの状態のままでは使用できません。

01

あらかじめ、ソフトパッドを取り外します。ブースターモードではソフトパッドは使用できませんので、お子さまの手の届かない場所に保管しておいてください。

参照 P36-37 >ソフトパッド

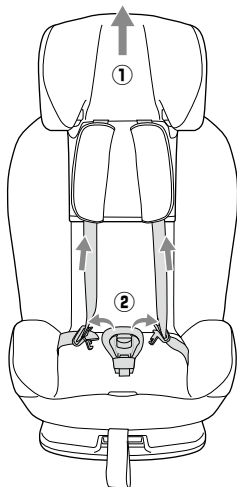
⚠危険


ブースターモードではソフトパッドを使用しないこと

ソフトパッドの使用はハーネスモード時のみです。お子さまを適切に保護することができませんので、ブースターモードではソフトパッドを使用しないでください。

02

- ①ハーネスを最後までしっかりとゆるめます。
- ②バックルを外し、
- ③ヘッドサポートを最も高い位置に調節しておきます。




 **ポイント!**

ハーネスが最後までしっかりとゆるんでいないと、ヘッドサポートが途中で止まってしまい、最も高い位置まで調節することができません。プースターモードに切り替えた後だと、この操作がしにくくなるため、ハーネスを格納する作業中に必ず行ってください。

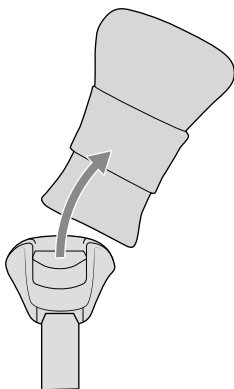
03

股ベルトパッドを受けバックルから抜き取ります。
プースターモードでは使用しませんので、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

 **ポイント!**

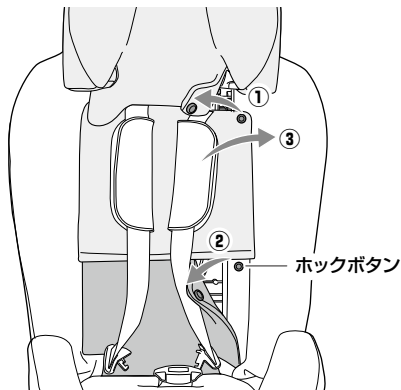
ハーネスモードでの使用中も、股ベルトパッドは、お手入れの際に取り外すことができます。取り付けかたは以下を参照してください。

参照 P82 > 股ベルトパッド



04

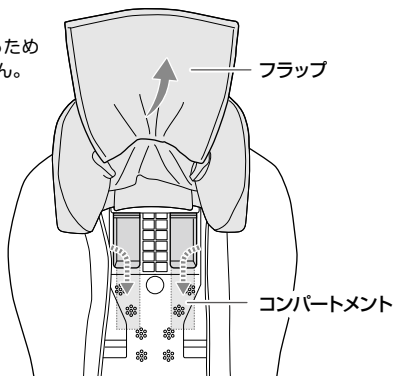
- ①ヘッドサポート下部の左右と（2カ所）、
 - ②背もたれ部中央あたり左右のホックボタンを外して（2カ所）、
 - ③肩ベルトを外側に出しておきます。
- 左右とも同じようにしてください。



05

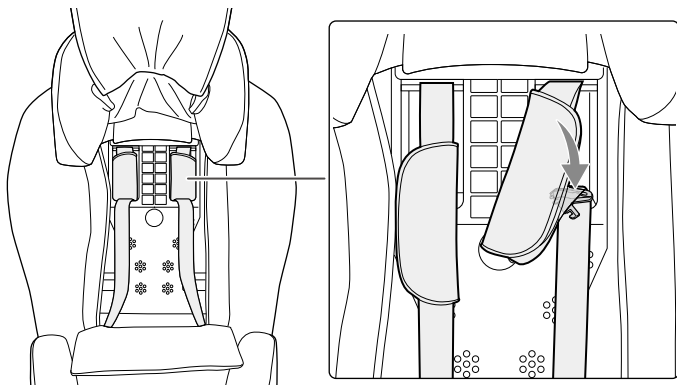
ヘッドサポート下部のフラップをめくり上げて、ハーネス格納用のコンパートメントを確認してください。肩ベルトパッドとハーネス、差し込みタンブはコンパートメントに格納します。


図は、わかりやすくするためハーネスを描いていません。



06

肩ベルトパッドとハーネス、差し込みタンブをコンパートメントに押し込みます。左右とも同じようにしてください。



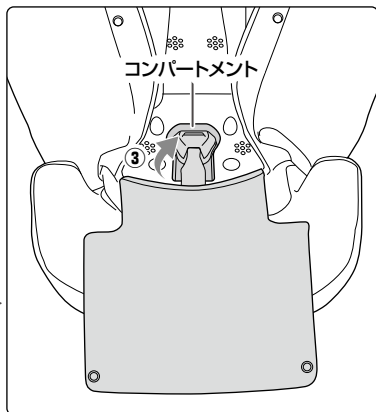
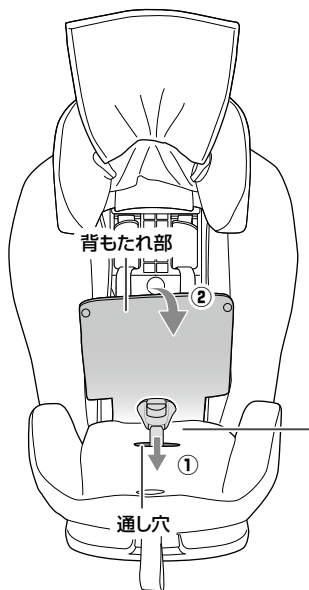
 **ポイント!**

コンパートメントに押し込めない場合、ハーネスが最後までゆるんでいない可能性があります。

参照 P32-33 >ハーネスの長さ調節

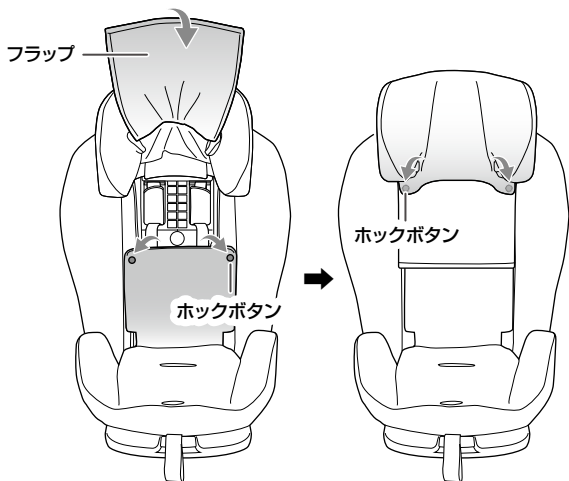
07

- ①受けバックルを、座面部分の通し穴から抜き出し、
- ②背もたれ部を前方にめくります。
- ③股ベルトをねじらないように注意して、本体座面部のコンパートメントに、受けバックルを格納してください。



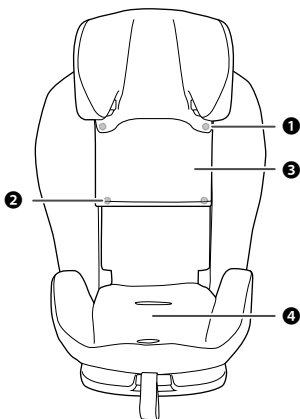
08

- ① 04 で外した、背もたれ部左右のホックボタンを留め（2カ所）、
- ② ヘッドサポートのフラップ部を下ろします。
- ③ 04 で外した、ヘッドサポート下部左右のホックボタンを留めます（2カ所）。
すべてのホックボタンが留まっていることを確認してください（合計 4カ所）。



09

以下のチェックリストを確認して、各部が正しい状態になっているか確認してください。



チェックリスト

- ①ヘッドサポート下部のホックボタンが左右とも留まっていること
- ②背もたれ部のホックボタンが左右とも留まっていること
- ③ハーネス、肩ベルトパッド、差込みタンクがコンパートメントに格納されていること
- ④受けバックルがコンパートメントに格納されていること

ISOFIX 固定装置の使用

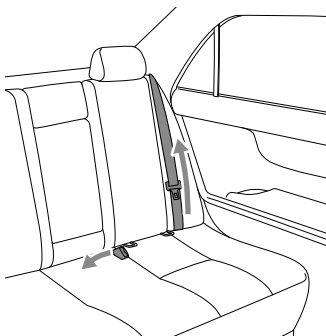
ブースターモードでは 3 点式シートベルトのみによる使用の他、より安全に使用するために ISOFIX 固定装置を併用することができます。

👉ポイント!

ブースターモードではトップテザーは使用しません。

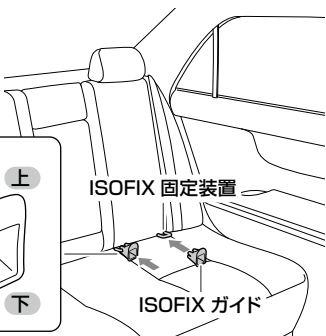
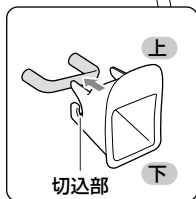
01

座席のシートベルトは留めずに、巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないように注意してください。



02

ISOFIXガイドを、座席のISOFIX固定装置に差し込みます。ISOFIXガイドの切込部をISOFIX固定装置に差し込むようにして取り付けてください。



ポイント!

車種によっては、ISOFIXガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIXガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできます。ただしISOFIX固定装置の周囲の座席の生地にキズがつく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ISOFIX固定装置の場所や使いかたについては自動車の取扱説明書を参照してください。

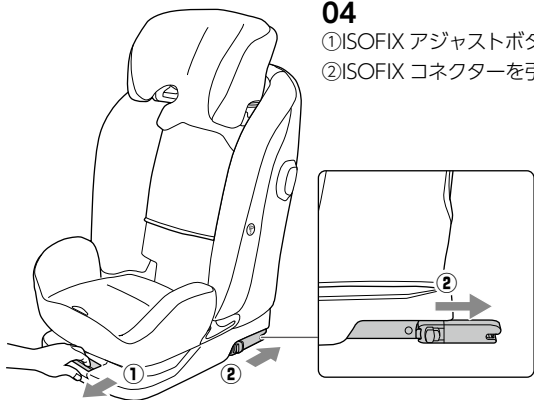
03

トップテザーベルトは短くたんで、収納袋に収納し、しっかりと口を閉じておいてください。

参照 P51 > 取り外し > 05

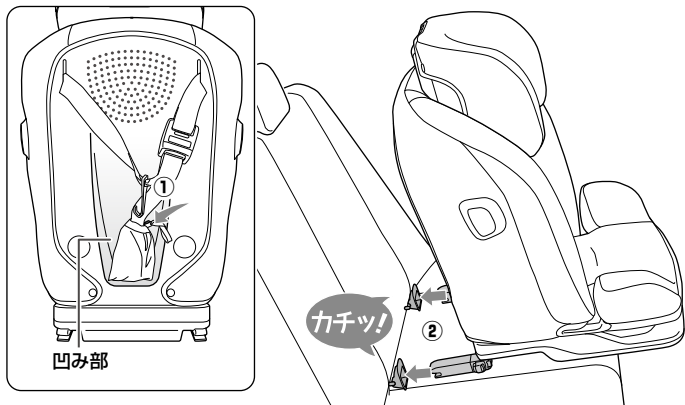
04

- ① ISOFIX アジャストボタンを手前に引いて、
- ② ISOFIX コネクターを引き出しておきます。



05

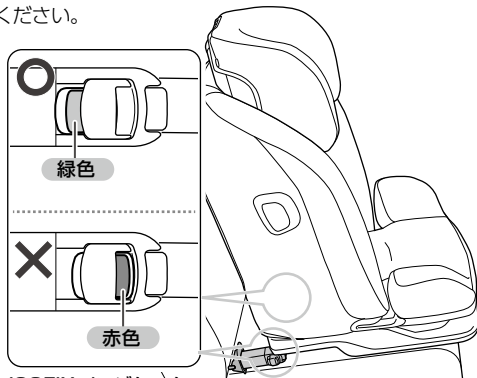
- ① トップテザー（収納袋）を、本体背面の凹み部に収めるようにして、
 - ② 左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。
- 左右それぞれカチッ、カチッ、と音がして座席の ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。



06

ISOFIX コネクターのインジケーターを確認します。必ず、左右両方とも緑色になっていることを確認してください。

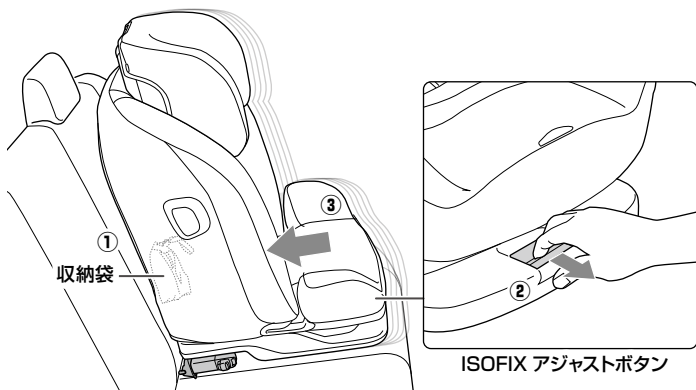
左右いずれか一方でも緑色になっていない（赤色のまま）場合は、もう一度操作をやりなおしてください。



ISOFIX インジケーター

07

- ①収納袋が、本体背面の凹み部に収納されていることを確認します。
- ② ISOFIX アジャストボタンを押し込み、
- ③本製品をシート背もたれ側に押し付けます。本製品の背もたれ部分が座席のシート背もたれに接するようにしっかりと押し込んでください。



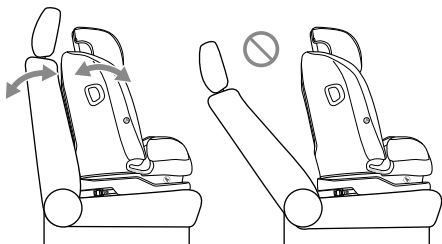
ISOFIX アジャストボタン

08

座席のシート背もたれと本製品の背もたれの角度が近くなるよう、本製品のリクライニング、シート背もたれのリクライニングを調節してください。

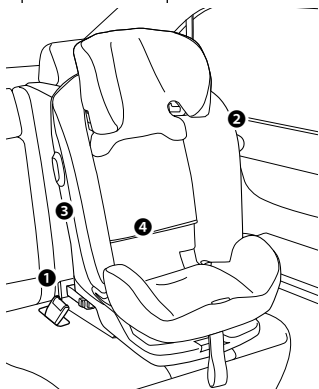
シート背もたれがリクライニングできる座席では、シート背もたれを倒した状態にしないでください。

参照 P35 >リクライニングの調節



09

以下のチェックリストを確認して、各部分が正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ①左右の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置に正しく固定されていること
・ ISOFIX コネクターのインジケータが左右とも緑色になっていること
- ② SIPP が中央座席側に取り付けられていないこと (ドア側座席に取り付けること)
- ③本製品の背もたれ部が、シート背もたれに接していること
- ④収納袋が凹み部に収納されていること

ポイント!

本製品の背もたれ部とシート背もたれ部に大きく隙間が空く場合は、本製品のリクライニング、またはシート背もたれのリクライニングを調節してください。

参照 P46 > 自動車の座席への取り付け > 13

10

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品は、車内には置かず自動車から出してください。

参照 P49-52 > 取り外し > 03-04, 06-07

3 点式シートベルトのみでの使用

3 点式シートベルトのみで使用する場合、ISOFIX 固定装置、ISOFIX コネクター、トップテザーは使用しません。

01

トップテザーベルトは短くたたんで、収納袋に収納し、しっかりと口を閉じておいてください。

参照 P51 > 取り外し > 05

02

座席にISOFIX ガイドが取り付けられている場合は、左右とも取り外しておきます。

参照 P52 > 取り外し > 07

危険

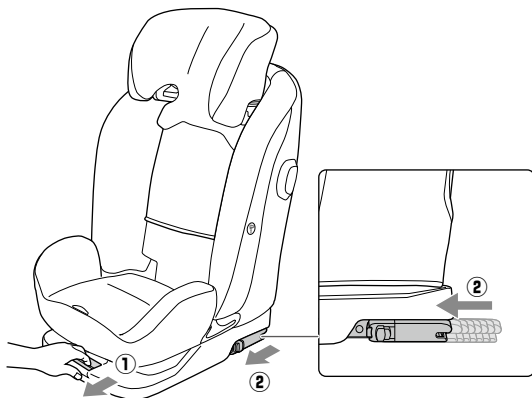
ISOFIX ガイドを取り外しておくこと

3 点式シートベルトのみで使用する場合、座席に ISOFIX ガイドが取り付けられていると、本製品に干渉して事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。ISOFIX ガイドは左右とも取り外し、お子さまの手の届かない場所に大切に保管しておいてください。

03

ISOFIX コネクターが引き出されている場合は、本体に収納しておきます。

- ①ISOFIX アジャストボタンを手前に引いて、
- ②ISOFIX コネクターを本体に収納します。最後までしっかりと収納してください。



⚠危険

ISOFIX コネクターは本体内に完全に収納しておくこと

3点式シートベルトのみで使用する場合、ISO コネクターが引き出されていると自動車の座席に干渉して事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

04

本製品を取り付ける座席の中央にして、背もたれ部がシート背もたれに接するように設置します。収納袋はシート背もたれに干渉しないように本体背面の凹み部に収納しておいてください。

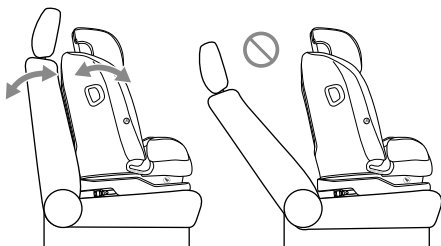
参照 P66 > ISOFIX 固定装置の使用 > 05



05

座席のシート背もたれと本製品の背もたれの角度が近くなるよう、本製品のリクライニング、シート背もたれのリクライニングを調節してください。シート背もたれがリクライニングできる座席では、シート背もたれを倒した状態にしないでください。

参照 P35 > リクライニングの調節



06

取り外しの操作はありません。お子さまを降ろして、本製品は車内には置かずに自動車から出してください。

⚠危険

本製品を車内に放置しないこと

3点式シートベルトのみで使用する場合、お子さまが座っていないときは、本製品は座席の上に置いてあるだけの状態になります。お子さまを乗せていないときは、適切な方法で本製品を固定しておくか、座席から外してトランクに収納するなどして、安全な方法で保管するようにしてください。

お子さまの乗せかた

ブースターモードでは、お子さまを本製品に乗せて、シートベルトを装着します。ISOFIXを併用している場合も、3点式シートベルトのみで使用する場合も、乗せかたは同様です。

⚠危険

シートバックルが本製品の使用に適さない場合は使用しないこと

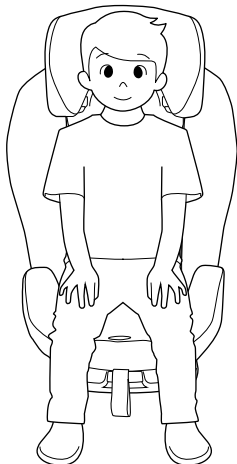
3点式シートベルトのシートバックルが長すぎたり位置が前方すぎる場合、シートバックルが干渉して適切に装着できなくなるおそれがあります。そのような座席では使用しないでください。

01

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせます。腰を深くして、シートの座面中央に座らせてください。

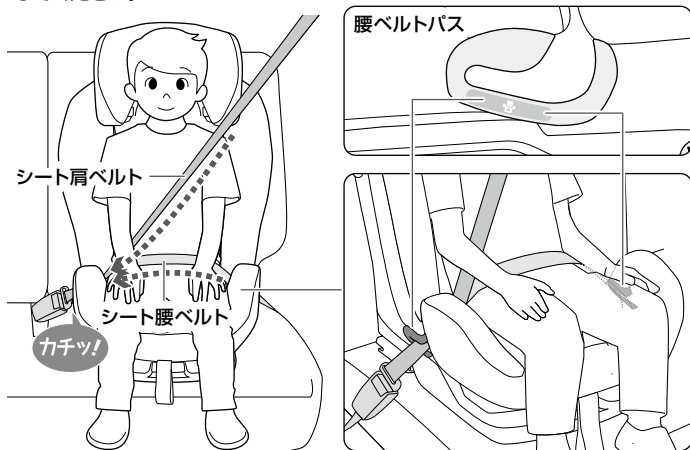
👉ポイント!

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトバックルがある）の状態での説明です。他の座席でも基本的な操作方法は同じですが、左右が逆になる場合があります。



02

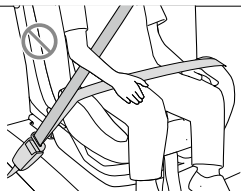
- ①シートベルトをねじらないように注意して、シートバックル側の腰ベルトパス（緑色で指示されています）に**シート肩ベルトとシート腰ベルトの両方**を通します。
- ②自動車のドア側の腰ベルトパスにシート腰ベルトを通して、
- ③シートバックルを留めます。カチッと音がしてしっかりと留まっていることを確認してください。



⚠危険

シートベルトは正しい位置を通すこと

シート腰ベルト、シート肩ベルトが正しく腰ベルトパスを通っていないと、お子さまを適切に保護することができません。必ず正しい位置を通してください。



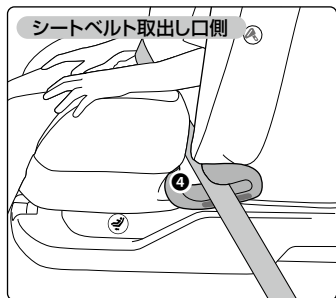
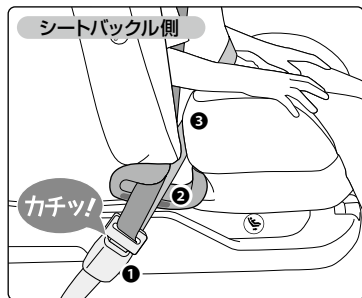
腰ベルトパスを通っていない



シート肩ベルトが反対側（シートベルトの取り出し口側）の腰ベルトパスにも通っている

03

以下のチェックリストを確認してください。一つでも不備や間違いがある場合は、そのままにせず、正しい状態にしてから次に進んでください。

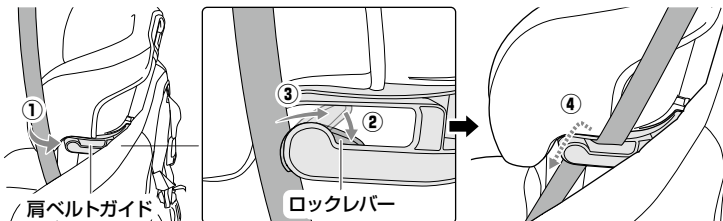


チェックリスト

- ① シートバックルにシートタングが確実に留まっていること
- ② シート肩ベルト、シート腰ベルトが両方とも腰ベルトパスを通過していること
- ③ シートベルトにねじれがないこと
- ④ シート腰ベルトだけが腰ベルトパスを通過していること

04

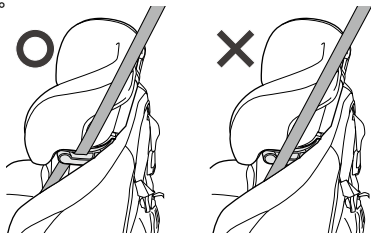
- ① シートベルト取出し口側（シートバックルの反対側）のシート肩ベルトを肩ベルトガイド（緑色の部位）に通します。
- ② 肩ベルトガイドのロックレバーを倒し（バネで自動的に元に戻ります）。
- ③ ねじらないように注意して、シート肩ベルトを差し入れて奥まで通します。
- ④ ロックレバーが戻って、下図のような状態になっていることを確認してください。



⚠危険

シート肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

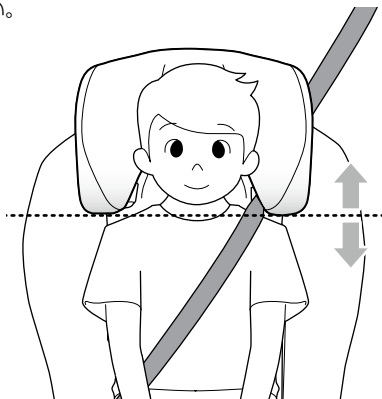
シートベルトがお子さまの頸部を圧迫したり、窒息につながるなど、重大な事故につながるおそれがあります。



05

シート肩ベルトを適切な高さにするため、ヘッドサポートの高さを調節します。

ブースターモードでは、ヘッドサポートの下端がお子さまの肩と同じ高さになるように調節してください。



参照 P33-35 >ヘッドサポートの高さ調節

⚠危険

ヘッドサポートの高さを適切に調節すること

ヘッドサポート（肩ベルトガイド）の位置が高すぎたり低すぎたりすると、シートベルトを正しく装着することができません。お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



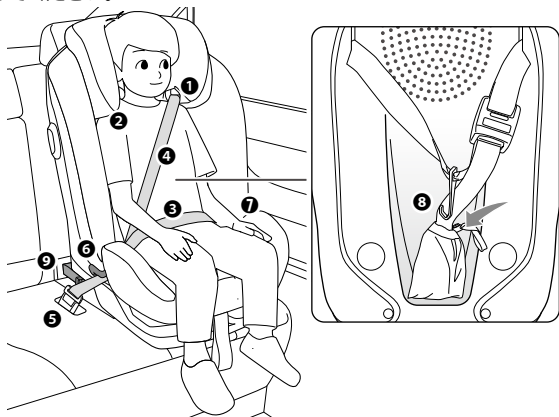
06

- ①シート腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように調節します。
- ②シート肩ベルトをしっかりと引いて、シートベルトにたるみがないようにします。



07

以下のチェックリストを確認して、各部が正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



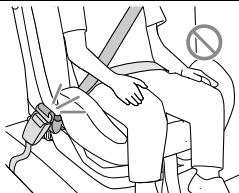
チェックリスト

- ①シート肩ベルトが肩ベルトガイドに正しく通っていること
シート肩ベルトの高さが適切になっていること
シート肩ベルトにねじれ、たるみがないこと
- ②お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ③シート腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
シート腰ベルトにねじれ、たるみがないこと
- ④シートベルトが適切に締め付けられていること
- ⑤シートバックルにシートタンクが確実に留まっていること
- ⑥中央席側の腰ベルトパスにシート肩ベルトとシート腰ベルトが通っていること
- ⑦ドア側の腰ベルトパスにシート腰ベルトが通っていること
- ⑧トップテザーベルトの収納袋が本体背面の凹み部に収まり、シート背もたれと干渉していないこと
- ⑨【ISOFIXを併用している場合】左右のISOFIXコネクターがISOFIX固定装置に正しく固定されていて、ISOFIXコネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること
- ⑩【3点式シートベルトのみの場合】左右のISOFIXコネクターが本体内に格納されていて、自動車の座席に干渉していないこと

⚠危険

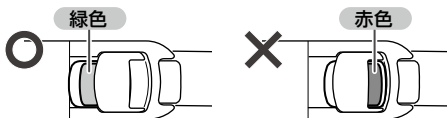
シートバックルが干渉する座席では使用しないこと

シートバックルのベルトが長すぎる（または位置が高すぎる）場合、腰ベルトパスにシートバックルが干渉して本製品が安全に機能しません。そのような座席では使用しないでください。



ISOFIX コネクターを確実に固定すること（ISOFIX 固定装置を使用する場合）

ISOFIX を併用する場合、左右の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置に確実に固定され、ISOFIX コネクターのインジケータが両方とも緑色になっていることを確認してください。本製品は 3 点式シートベルトのみでも使用できますが、不確実な ISOFIX 固定装置の使用は安全性能に影響を与えるおそれがあります。



お子さまの年齢が上がると、ご自身でシートバックルに手を触れて解除してしまう危険性が高まります。

絶対に走行中にバックルを外さないよう、常にお子さまに言い聞かせ、シートベルトを正しく装着した状態でご使用ください。

⚠警告

正しい状態を維持すること

お子さまが、走行中にシートバックルに触れて解除したり、シートベルトから抜け出そうとしたりする危険があります。お子さまには、「バックルに触れないこと」、「シートベルトを正しく装着すること」を繰り返し注意するようにしてください。

また、本製品の使用中は、シートベルトが緩んだり外れたりしていないか、適宜、安全確認を行うようにしてください。

👉ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろするたびに、肩ベルトガイド（ヘッドサポート）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

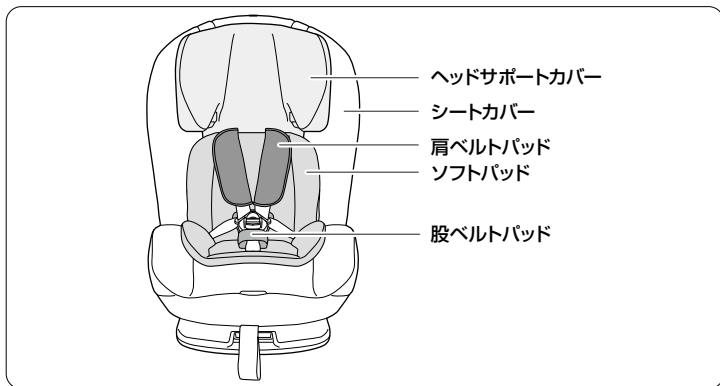
08

お子さまを降ろす場合は、シートバックルを外します。3点式シートベルトのみで
使用している場合、シートバックルを外すと本製品は固定されていない状態になり
ます。安全のため、本製品を適切な方法で固定するか、車内から出してトランクに
入れるなどしてください。

お手入れのしかた

カバー類の取り外し、取り付け

本製品は、お手入れのために、以下の縫製品を取り外すことができます。
お手入れ後は、取り外した縫製品を必ず（ソフトパッドは必要に応じて）取り付け
なおしてください。



⚠危険

部品を取り外して使用しないこと

本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。カバー
類、縫製品類は、安全に関わる重要な部品ですので決して取り外して使用しないで
ください。また、同様に本製品に使用されている、ウレタンなどの衝撃吸収材、本製品に貼ら
れているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないで
ください。

警告

本製品の内部機構に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります

お手入れなどのためにシートカバーなどを取り外したら、取り付け直すまでの間は、本体をお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

注意

シートカバーを取り外すと、本製品の内部機構が見える状態になります

内部の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、シートカバーを取り外した本製品は、ビニール袋を被せるなどして保護しておいてください。

ポイント!

以下は、ハーネスモードからのカバー類の取り外しについて説明しています。

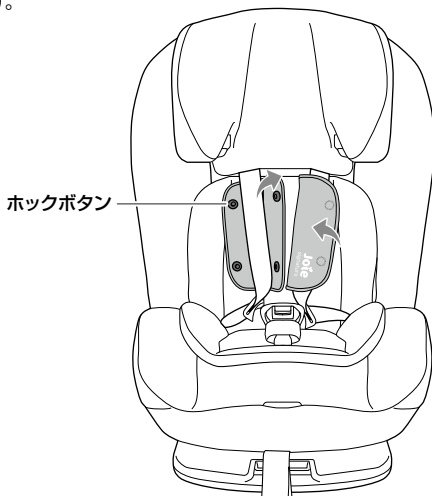
肩ベルトパッド

01

あらかじめバックルを外しておきます。

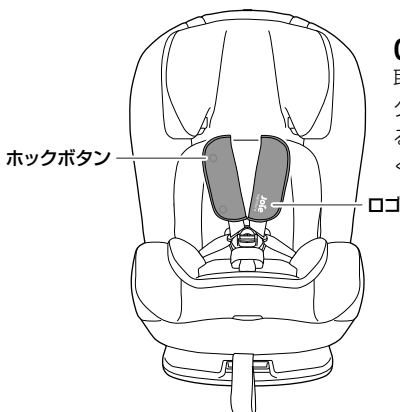
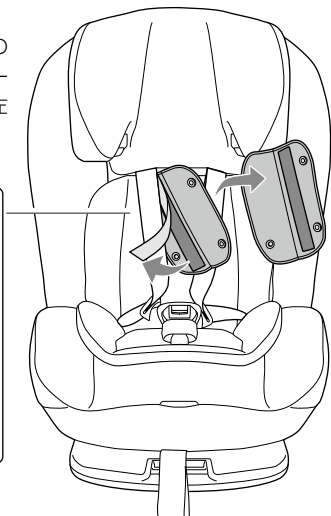
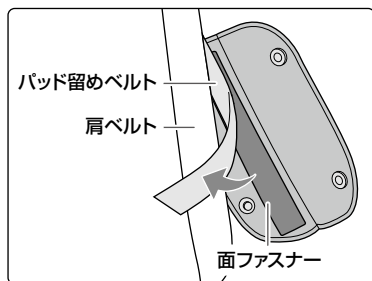
02

肩ベルトパッドのホックボタンを外します。左右とも同じようにしてください（合計4カ所）。



03

肩ベルトパッドと肩ベルトの下側（裏側）の
パッド留めベルトを留めている面ファスナー
を外して肩ベルトパッドを取り外します。左
右とも同じようにして取り外してください。



04

取り付けは逆の手順で行います。ホック
ボタンがある側を外側に、ロゴのある
側を向かって右側にして取り付けて
ください。

⚠危険

肩ベルトパッドは必ず取り付けること

お子さまの安全を守るための大切なパーツです。ハーネスモードで使用するとき、必ず
取り付けてください。

股ベルトパッド

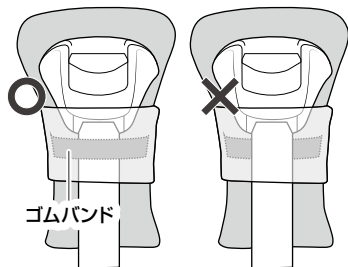
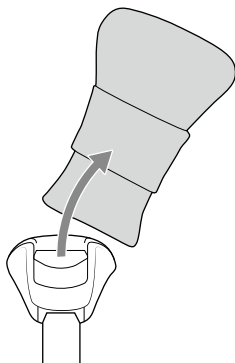
01

バックルを外し、受けバックルから引き抜いて取り外します。

⚠危険

股ベルトパッドは必ず取り付けること

お子さまの安全を守るための大切なパーツです。ハーネスモードで使用するときには、必ず取り付けてください。

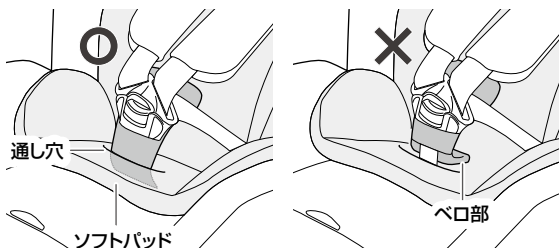


ゴムバンド

02

受けバックルに差し込んで取り付けます。この際に股ベルトパッド内側のゴムバンドに受けバックルを通すようにしてください。

ソフトパッドを使用している場合は、股ベルトパッド下部のペロ部をソフトパッドの通し穴に押し込んでおくようにします。



ヘッドサポートカバー

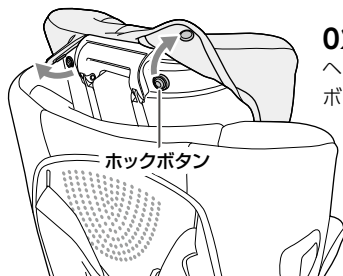
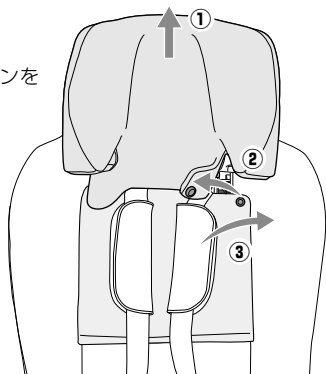
01

- ①ヘッドサポートを高い位置に調節して、
- ②ヘッドサポート下部の左右のフックボタンを外し（2カ所）、
- ③肩ベルトを外側に出しておきます。左右とも同じようにしてください。

参照 P33-35 >ヘッドサポートの高さ調節

ポイント!

ソフトパッドを取り外けた状態でも作業は可能ですが、あらかじめ取り外しておくこと取り外し、取り付け作業がしやすくなります。

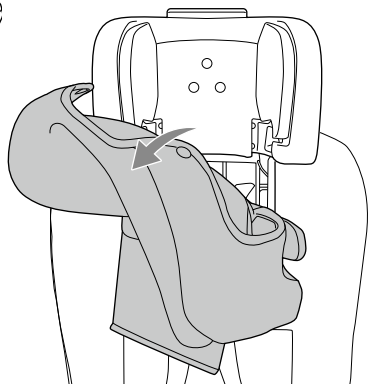


02

- ② ヘッドサポート後部左右に留めてあるフックボタンを外します。

03

- ③ 衝撃吸収材をキズつけないように注意して、ヘッドサポートを前方にめくって取り外します。

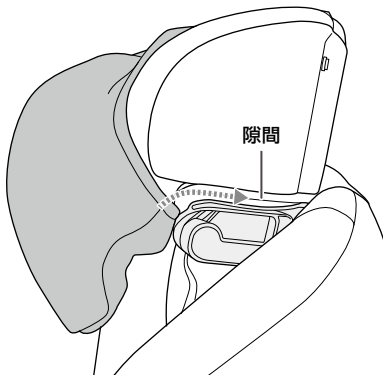


04

取り付けは逆の手順で行います。ヘッドサポートカバーの生地を肩ベルトガイドの上（ヘッドサポートとの隙間）に差し入れるようにして取り付けてください。

ポイント!

ヘッドサポートカバーの取り付けは、操作がきつめです。左右の肩ベルトガイドの中に生地を入れないように注意してください。生地は肩ベルトガイドの上に通します。



シートカバー

01

あらかじめ、SIPP を取り外し、取扱説明書ホルダーから本書を抜き取っておきます。

参照 P38 > サイドインパクトプロテクションボッド (SIPP) > 02

参照 P28 > 取扱説明書の携行

02

ヘッドサポートを一番低い位置に調節します。

参照 P33-35 > ヘッドサポートの高さ調節

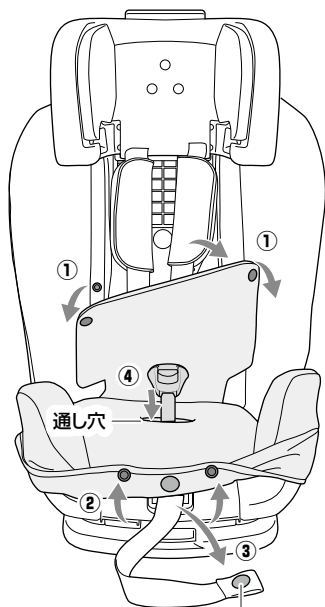
03

背面下部でシートカバーを留めている左右のフックボタンを外します。左右とも外しておいてください。



04

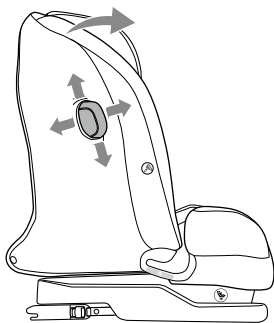
- ①背もたれ部中央あたり左右のホックボタンを外して（2カ所）、背もたれ部を肩ベルトの外側に出しておきます。
- ②シートカバー先端部左右（2カ所）のホックボタンを外して、
- ③シートカバー先端部裏側に留めてあるアジャストベルトの面ファスナーを外します。
- ④受けバックル（股ベルト）を通し穴から抜き取ります。



面ファスナー

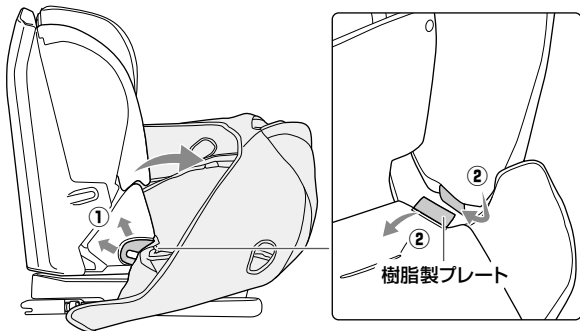
05

- ①左右の SIPP スロットの周囲に差し入れてあるシートカバーの生地を抜き取ります。左右とも抜き取ってください。
- ②シートカバーを前方にめくり、ヘッドサポートから抜き取ります。



06

- ①左右の腰ベルトパスの周囲に差し入れてあるシートカバーの生地を抜き取ります。
- ②その際、腰ベルトパスの内側に差し込まれているシートカバーの樹脂製プレート（左右それぞれ2枚）も同時に抜き取ります。左右とも同じようにしてください。

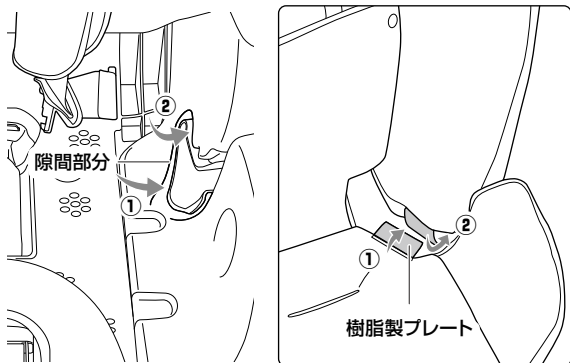


ポイント!


シートカバーを取り付ける際には、樹脂製のプレートを先に腰ベルトパスの隙間部分（下図）に押し込んだ状態にして、腰ベルトの外側の周囲に生地を差し入れてください。樹脂製のプレートは以下の手順で取り付けてください。

- ①座面側のプレートを表側に出して、隙間部分に差し込みます。
 - ②側面側のプレートを横に倒すようにして、隙間部分に差し込みます。
- 左右とも同じようにして差し込んでください。

ご使用中に樹脂製プレートがずれた場合も、同様にして差し込んでください。



シートカバーを取り外します。取り付けは逆の手順で行います。

 **ポイント!**

シートカバーの取り付けは、操作がきつめです。先に座面先端部を左右とも被せてから、腰ベルトパスへの樹脂プレートの差し込みと、生地の差し入れを行うと比較的作業がしやすくなります。

お手入れの方法

カバー、パッド類

以下のカバー、パッド類は、洗濯機で洗濯が可能です。
注意事項をお守りいただき、お手入れしてください。

- ・シートカバー*
- ・ヘッドサポートカバー*
- ・ソフトパッド
- ・肩ベルトパッド
- ・股ベルトパッド

※シートカバー、ヘッドサポートカバーの下部には樹脂製のプレートが取り付けられています。このプレートは外すことができませんので、洗濯時は折り曲げないように注意してください。

- 液温 30℃以下の水で弱水流にした洗濯機で洗濯が可能です。
- 洗濯時には取扱説明書を取扱説明書ホルダーから抜いてください。
- 洗濯機をご使用になる際は、重量の偏りに注意してください（特に脱水時）。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合には、しっかりとすすいで、洗剤を完全に落としてください。
- 軽く絞って、形を整えて日陰で吊り干ししてください。
- 取り付けは、よく乾かしてから行ってください。
- 留めることができる面ファスナー、ホックボタンは留めておいてください。

⚠注意

- ・塩素系、酸素系ともに漂白剤は使用できません。
- ・タンブル乾燥処理はできません。
- ・日陰でつり干し乾燥してください。
- ・アイロンは使用しないでください。
- ・商業クリーニング、ドライクリーニングはしないでください。
- ・ガソリン、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
- ・きつく絞らないでください。

本体

⚠危険

- ・水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
- ・油類などの潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

⚠注意

- ・市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。
- ・ガソリン、シンナーなどの有機溶剤、その他の溶剤を使用しないでください。樹脂部に影響を与え、ウレタンなどの衝撃吸収材を溶解し、変質、変形させるおそれがあります。

ISOFIX コネクター

差込みタンク／受けバックル

ベルト／ハーネス類

テザーベルトアジャスター／テザーフック

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。洗剤類などは使用しないでください。

樹脂部分・その他の金属部分

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

衝撃吸収材

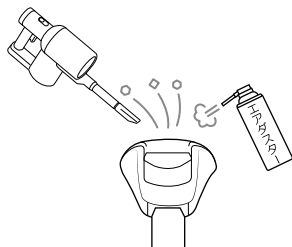
お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布でやさしく汚れをふきとってください。洗剤類は使用しないでください。

内部の機構部

内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

受けバックルの内部

受けバックルの内部は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



保管のしかた

長期間使用しない場合、本製品は自動車の座席から取り外してください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時も本製品のバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のアたる場所、露天では保管しないでください。

本製品の上に物を乗せて保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品、使用不可」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイー i-Plenti (アイ-プレんティー)		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒	住所	電話番号
	お名前		
	電話番号		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合、保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた故障、破損、不良の場合
- ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ペルト類等縫製品のほつれの場合
- ・部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(販売元)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シート等を貼り付けてください



Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ
info.gl@joiebaby.com

view all fine signature selections at
joiebaby.com/signature